USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

Optoma

X320UST

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのOptoma X320USTの交換用ランプは、現在入手可能です。



Optoma X320USTプロジェクターランプ

部品番号：BL-FU260B / SP.72701GC01
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Optoma/X320UST.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

目次

目次 1
使用法 2
安全情報 2
事前注意 3
目の安全に関する警告 5
製品の特徴 5
はじめに 6
パッケージの概要 6
製品の各部名称 7
本体 7
コントロール パネル 8
入/出力 接続端子 9
リモコン 10
設置方法 11
プロジェクタへの接続 11
コンピュータ / ノート パソコンへの接続 11
ビデオソースの接続 12
3D ビデオデバイスへの接続 13
3D眼鏡の使用 15
プロジェクタの電源オン/オフ 16
プロジェクタの電源オン 16
プロジェクタの電源を切る 17
警告インジケータ 18
投射画像の調整 19
プロジェクタの高さを調整する 19
プロジェクタのフォーカスを調整する 20
プロジェクタの画面サイズの調整 20
ユーザー管理 23
コントロール パネルおよびリモコン 23
コントロール パネル 23
リモコン 24
オンスクリーンディスプレーメニュー 27
操作方法 27
メニュー ツリー (階層) 28
イメージ 35
イメージ | 詳細 38
ディスプレー 43
ディスプレー | 3D 48
設定 50
設定 | 音声設定 53
設定 | セキュリティ 55
設定 | ネットワーク 57
設定 | ネットワーク| LAN設定 58
設定 | ネットワーク| コントロール設定 60
設定 | 信号 (RGB) 70
設定 | 信号 (ビデオ) 72
設定 | 詳細 73
オプション 75
オプション | ランプ設定 79
オプション | 詳細 81
オプション | リモート設定 83
オプション | Filter Settings 84
付録 85
トラブルシューティング 85
画像の問題 85
その他の問題 87
リモコンの問題 87
LED 点灯メッセージ 88
オンスクリーン メッセージ 89
ランプの交換 90
ダストフィルタの取り付けと洗浄 92
互換モード 93
RS232 コマンドとプロトコル機能リスト 95
RS232ピン割り当て 95
RS232プロトコル機能リスト 96
天井への取り付け 104
Optoma社グローバルオフィス 105
規制と安全に関する通知 107
FCC通告 107
EU諸国への適合宣言 108

安全情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない[危険な電圧]が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

クラスB放出限度

当クラスＢデジタル機器はカナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。

安全に関するご注意

1. 通気孔を塞がないでください。プロジェクタを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクタは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。火事や感電のリスクがありますので、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
6. 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）:
   - 装置を落とした。
   - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
   - プロジェクタに液体をこぼした。
   - プロジェクタを、雨や湿気にさらしてしまった。
   - プロジェクタ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

   お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
7. プロジェクタ内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

事前注意



この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



- ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。[ランプの交換] (90 ～ 91ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。

警告 - ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞいてはいけません。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

警告 - 火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。

警告 - プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

警告 - ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。90 ～ 91 ページに記載の手順に従ってください。

警告 - 本プロジェクタは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

警告 - ランプ モジュールを交換した場合は、オン スクリーン表示の [オプション|ランプ設定] にある [ランプリセット] 機能を使用してリセットします (79 ページ参照) 。

警告 - プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクタは、少なくとも90秒間、放熱させてください。

警告 - ランプの寿命が近づくと、[ランプの寿命が過ぎています。]というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

使用法

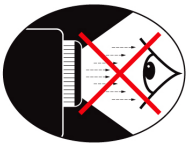
推奨事項：

- ❖ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ❖ ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。
- ❖ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- ❖ 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- ❖ 当機器を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください:
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - ▶ 室温が5şC～40şC の範囲に保たれていることを確認します
    - ▶ 相対湿度は10%～85%の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告



- 常にプロジェクターの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクターを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ランプの消費電力を最小限に抑えるため、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

製品の特徴

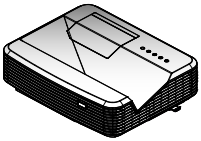
- 製品の特徴はモデルによって異なることがあります。

- 1080p (1920 x 1080)
- ネイティブ解像度 XGA (1024 x 768) / WXGA (1280 x 800)
- HD 対応 ☒ 720p および 1080p サポート
- BrilliantColor™ テクノロジ
- ケンジントンロック
- RS232 コントロール
- 高速シャットダウン
- フル 3D（94 ページを参照）
- Crestron/Extron/ PJLink™ 互換
- より経済的な使用のためのエコプラスモード
- USB 電源充電器
- 双方向性サポート (双方向バージョンの場合のみ)

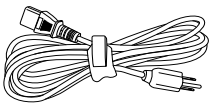
パッケージの概要

箱を開け、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうかお確かめください。万が一不足品がある場合は、Optoma カスタマーサービスまでお問合せください。

標準アクセサリ



プロジェクタ



電源コード



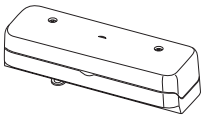
リモート



単 4 電池(2本)

- ☑ CD ユーザーマニュアル
- ☑ 保証書
- ☑ 基本ユーザーマニュアル

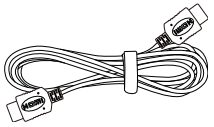
文書



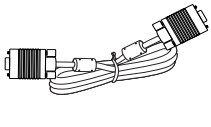
レーザーカーテンモジュール (双方向バージョンの場合のみ)

❖ 他のレーザーカーテンの付属品については、レーザーカーテンのユーザーマニュアルを参照してください。

オプションのアクセサリ



HDMI ケーブル

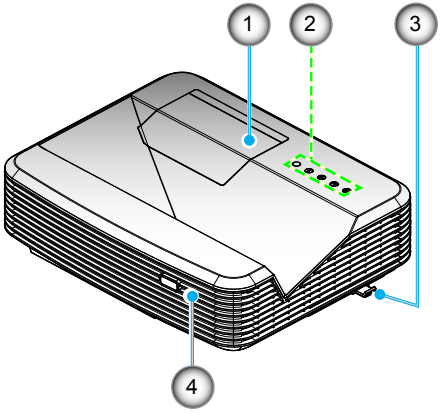


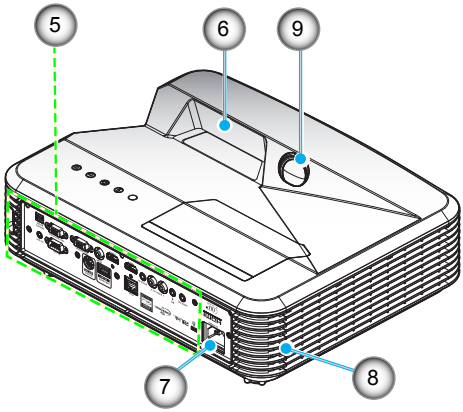
VGA ケーブル

❖ オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。

製品の各部名称

本体



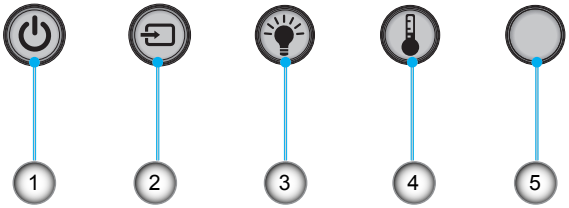


NOTE

❖ プロジェクタの換気口 (吸気/排気) を塞がないでください。

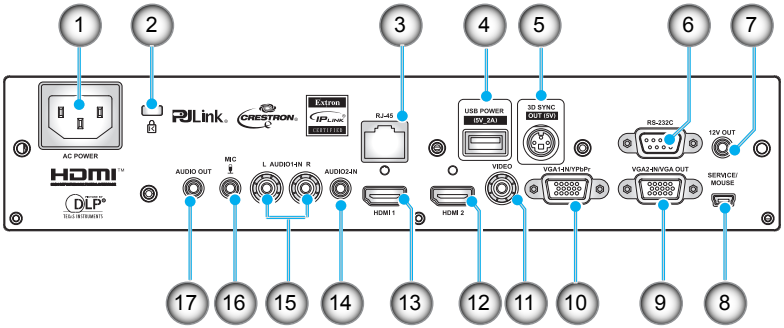
1. ランプカバー
2. コントロール パネル
3. フォーカススイッチ
4. IR レシーバー設定
5. 入/出力 接続端子
6. レンズ
7. 電源ソケット
8. スピーカ
9. IR カメラ (双方向バージョンの場合のみ)

コントロール パネル



1. 消費電力
2. ソース
3. ランプインジケータ
4. 温度インジケータ
5. IR レシーバー設定

入/出力 接続端子



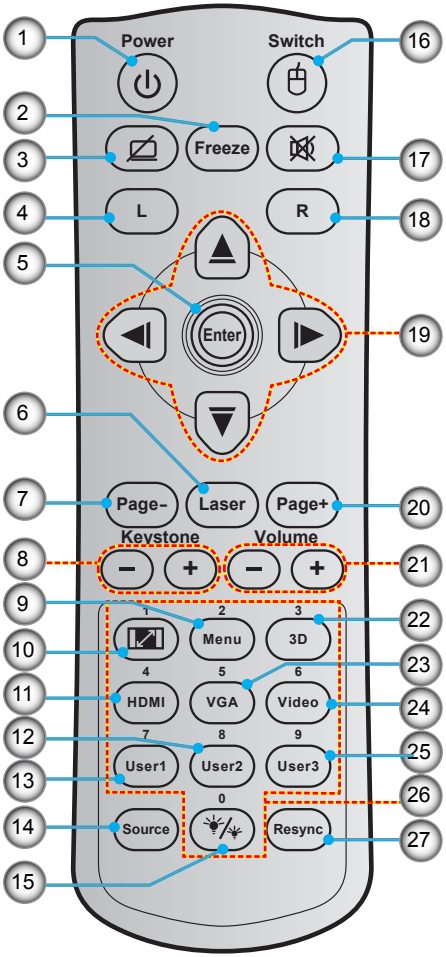
1. 電源ソケット
2. Kensington™ ロック ポート
3. RJ45 端子
4. USB 電源端子 (最大 5V/2A)
5. 3D 同期端子 (5V)
6. RS-232C 端子 (9 ピン DIN タイプ)
7. 12V オーディオ出力端子
8. USB 端子 (PC に接続 (リモートマウス機能向け))
9. VGA 出力/VGA2 入力端子
10. VGA1 入力/YPbPr 端子 (PC アナログ信号/コンポーネント ビデオ入力/HDTV/YPbPr)
11. コンポジット ビデオ入力端子
12. HDMI2 入力端子
13. HDMI1 入力端子
14. オーディオ 2 入力端子 (3.5mm ミニジャック)
15. コンポジットオーディオ入力 (右/左) 端子
16. オーディオ入力端子 (マイク)
17. オーディオ出力端子 (3.5mm ミニジャック)

NOTE

❖ リモートマウスには特別なリモートが必要です。

リモコン

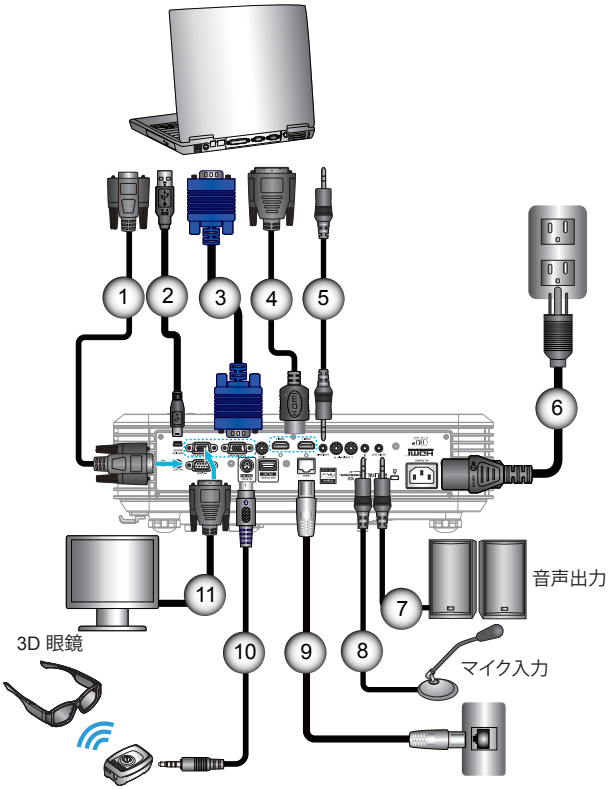
❖ キーによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。



1. 電源 オン/オフ
2. フリーズ
3. 空白画面をディスプレイ/オーディオ消音
4. マウスの左クリック
5. Enter
6. レーザー
7. ページ -
8. キーストーン -/+
9. Menu
10. アスペクト比
11. HDMI
12. ユーザー 2
13. ユーザー 1
14. ソース
15. 輝度モード
16. マウス　オン/オフ
17. 消音
18. マウスの右クリック
19. 4 方向選択キー
20. ページ +
21. 音量 -/+
22. 3D メニュー　オン/オフ
23. VGA
24. ビデオ
25. ユーザー 3
26. テンキー（0-9）
27. 再同期

プロジェクタへの接続

コンピュータ / ノート パソコンへの接続



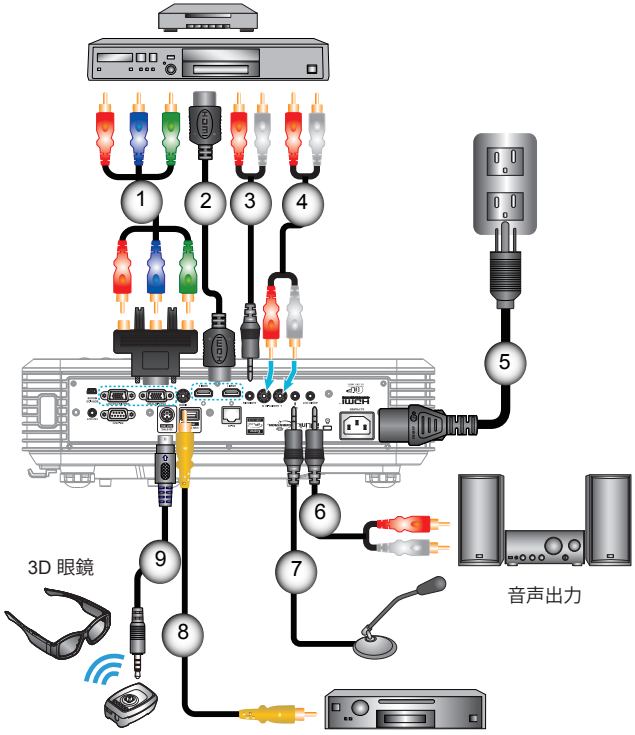
- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションのアクセサリ

1.....RS-232C ケーブル
2..... リモートマウス USB ケーブル
3.....VGA1 入力/YPbPr ケーブル
4..... *HDMI ケーブル
5..... オーディオ 2 入力ケーブル
6.....電源コード
7..... オーディオ出力ケーブル
8.....オーディオ入力 (マイク) ケーブル
9..... RJ-45 ケーブル
10.....*3D エミッターケーブル
11..... VGA 出力/VGA2 入力ケーブル

設置方法

ビデオソースの接続

DVD プレーヤ、ブルーレイプレーヤ、セットトップボックス、HDTV レシーバ、ゲームコンソール



- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプション アクセサリ

1	*3 RCA コンポーネント ケーブル
2	*HDMI ケーブル
3	*オーディオ 2 入力ケーブル
4	オーディオ入力ケーブル
5	電源コード
6	* オーディオ出力ケーブル
7	マイク入力ケーブル
8	ビデオケーブル
9	*3D エミッターケーブル

3D ビデオデバイスへの接続

図のようにHDMIケーブルと機器を接続した場合、使用準備完了となります。3D ビデオソースと 3D プロジェクタの電源をオンにします。

❖ 3Dビデオソース機器は、3Dプロジェクタの前に、必ず電源を入れてください。

プレイステーション^{Z} 3つのゲーム

- 最新ソフトウェアバージョン向けにコンソールをアップデートされたか、ご確認ください。
- [設定メニュー -> 表示設定-> ビデオ出力-> HDMI]へお進みください。[Automatic]を選択し、画面上の指示に従ってください。
- 3Dゲームのディスクを挿入ください。または、プレイステーション^{Z}ネットワーク経由でゲームをダウンロード（及び3Dのアップデート）することができます。
- ネットワーク ゲームのスタート。ゲームメニューで[3Dを起動]を選択ください。

Blu-ray 3D⊠ プレーヤー

- ご自身のプレーヤーが3D Blu-ray⊠ディスクに対応し、3D出力が可能か、ご確認ください。
- 3D Blu-ray⊠ディスクをプレーヤーに挿入し、[プレイ]を押してください。

3D TV (例、SKY 3D、DirecTV)

- ご自身のチャンネルパッケージにおいて、3Dチャンネルがあるかどうか、TVプログラムサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 使用可能となった場合、3Dチャンネルに切り替えてください。
- 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの[Side By Side]に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの[ディスプレー]セクションにあります。

❖ 入力ビデオが通常の2Dの場合、[3D映像フォーマット] にするために [オート] を押し切り替えてください。

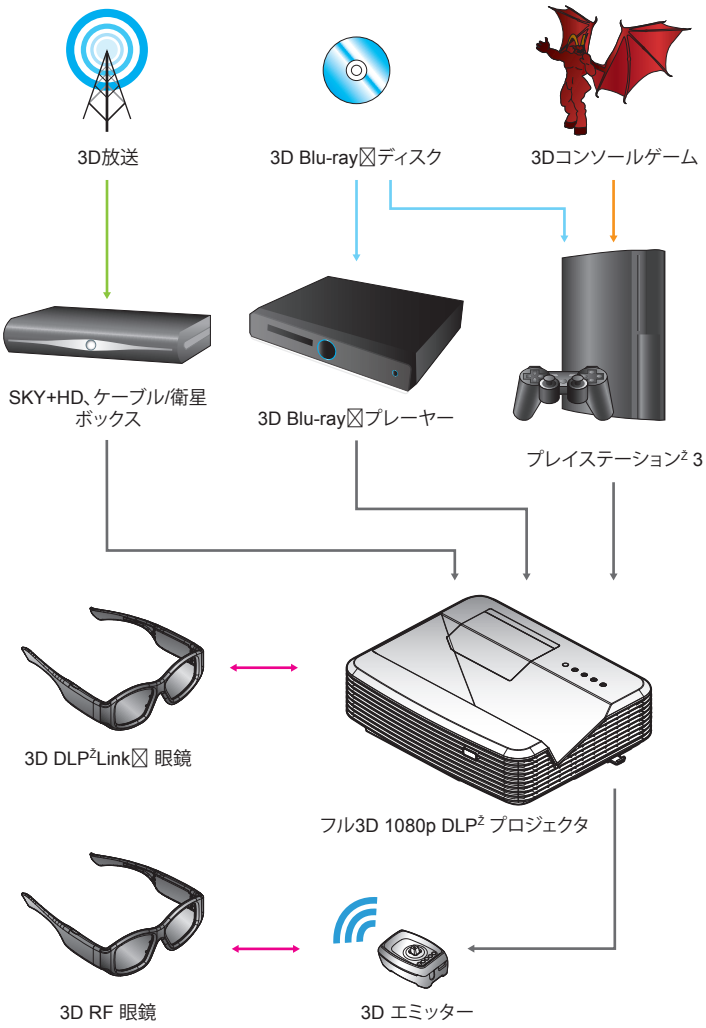
❖ [Side By Side] が作動している場合、2D ビデオの内容は正しく表示されません。

2D 1080iサイドバイサイド信号出力を伴う3D 機器(例、3D DV/DC)

- 3D機器に接続し、2D サイドバイサイド出力を伴う 3D コンテンツから 3D プロジェクタに切り替えてください。
  - 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの[Side By Side]に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの[ディスプレー]セクションにあります。

HDMI 1.4a ソース (例、3D Blu-ray) から 3D コンテンツを鑑賞する場合、常に 3D 眼鏡を同期する必要があります。HDMI 1.3 ソースから 3D コンテンツ (例、Side By Side モードを使用する 3D 放送) を鑑賞している場合、3D を最適化するために、プロジェクタの 3D 同期反転オプションを使用する必要があります。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの[ディスプレー ->3D]セクションにあります。

設置方法


3D放送
3D Blu-ray☒ディスク
3Dコンソールゲーム
SKY+HD、ケーブル/衛星ボックス
3D Blu-ray☒プレーヤー
プレイステーション² 3
3D DLP²Link☒ 眼鏡
フル3D 1080p DLP² プロジェクタ
3D RF 眼鏡
3D エミッター

❖ 更に詳細の情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドをご参照ください。

3D眼鏡の使用

1. 3D眼鏡をオンにする。
2. 3D接続の検証がプロジェクタに送られ、信号がプロジェクタの仕様に対応します。
3. 3D プロジェクタの[3Dモード] (オフ/ DLPリンク/VESA 3D - 使用している眼鏡のタイプによって異なります) をオンにします。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの[ディスプレー]セクションにあります。
4. 3D 眼鏡をオンにすると、眼の疲れなしの3Dで検証画像が表示されます。
5. 3Dで画像が表示されない場合、3D 画像が送信されているかどうか、3D機器設定をよくお確かめください。または、入力信号が 2D 1080i サイドバイサイである場合、[Side By Side]がオンとなっているかお確かめの上、上述の 1 ～ 4 のステップを再試行してください。
6. 最高の 3D 体験を実現するためには、プロジェクタの[3D同期反転]オプションを使用する必要があります。当オプションは、プロジェクタ OSD メニューの[ディスプレー]セクションにあります。
7. 3D眼鏡をオフにする: LED スイッチがオフになるまで、[Power]ボタンを押し続けてください。
8. 設定についての更なる情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドまたはメーカーサイトをご参照ください。

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源オン

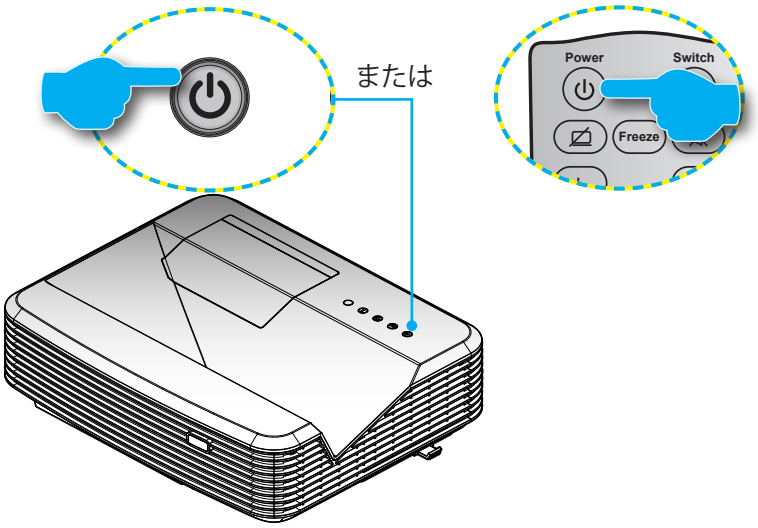
1. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクタ上部またはリモコンの [⏻] ボタンを押して、ランプの電源を入れます。オン/スタンバイ LED が青色に点灯します。

   起動画面は約 10 秒後に表示されます。プロジェクタを初めて使用するとき、使用言語と省電力モードを選択するように求められます。
3. スクリーンに表示させたい（コンピュータ、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど）ソースの電源を入れて、接続します。プロジェクタは 自動的にソースを検出します。検出されない場合、メニューボタンを押して、[オプション] を開きます。
   [ソースロック] が [オフ] になっていることを確認します。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、リモコンの [SOURCE]ボタン、またはリモコンのダイレクトソースキーを押すことで、入力を切り換えることができます。

NOTE

❖ まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します。
❖ (*) オプション アクセサリ。



プロジェクタの電源を切る

1. リモコンまたはコントロールパネルの[⏻]ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。画面上に次のメッセージが表示されます。



   [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクタはカウントダウンタイマーを表示してシャットダウンします。

2. 冷却ファンを約 10 秒間作動させ続けて冷却サイクルを実施すると、オン/スタンバイ LED が青く点滅します。オン/スタンバイ LED が赤く点灯したら、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクタを立ち上げることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- このような症状が見られる場合は、最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。詳細は、105-106 ページを参照してください。

警告インジケータ（以下を参照）がオンになると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします:

- [ランプ] LED インジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤く点滅している場合。
- [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤く点滅している場合。この状態は、プロジェクタが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクタのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LED インジケータが赤く点滅し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤く点滅している場合。

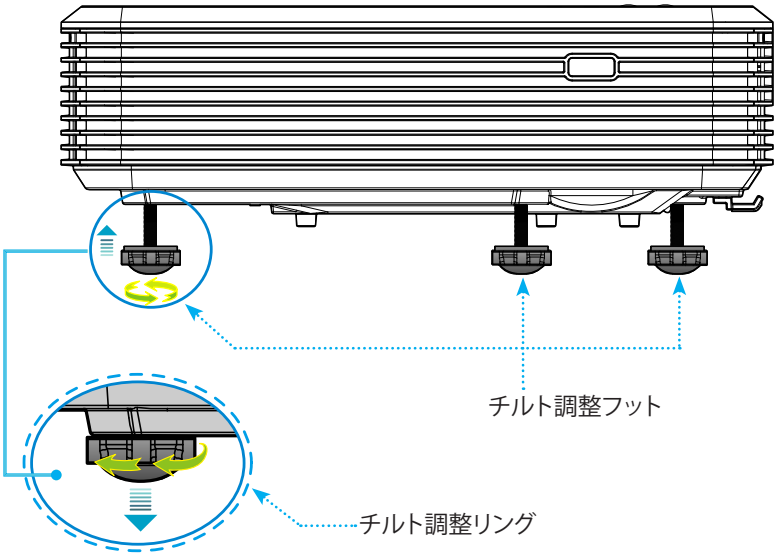
プロジェクタから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが再び点灯したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

投射画像の調整

プロジェクタの高さを調整する

本プロジェクタには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

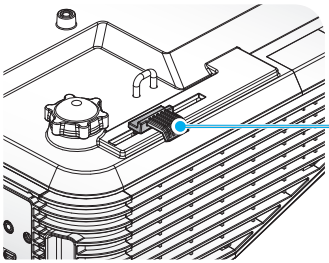
1. プロジェクタの底面にある、チルト調整フットを 確認してください。
2. 調整リングを時計周りに回すとプロジェクタの高さが高くなり、反時計周りに回すと高さが下がります。必要に応じて、残りの足についてもこの手順を繰り返します。



プロジェクタのフォーカスを調整する

映像のピントを調節するには、くっきりした映像が表示されるように、フォーカススイッチをスライドさせます。

- 標準投影シリーズ（XGA）: 本プロジェクタは、レンズ中心から 0.47 ～ 0.68 メートルの距離内でピントを合わせることができます。
- 標準投影シリーズ（WXGA）: 本プロジェクタは、レンズ中心から 0.49 ～ 0.66 メートルの距離内でピントを合わせることができます。
- 標準投影シリーズ （1080p）: 本プロジェクタは、レンズ中心から 0.45 ～ 0.56 メートルの距離内でピントを合わせることができます。

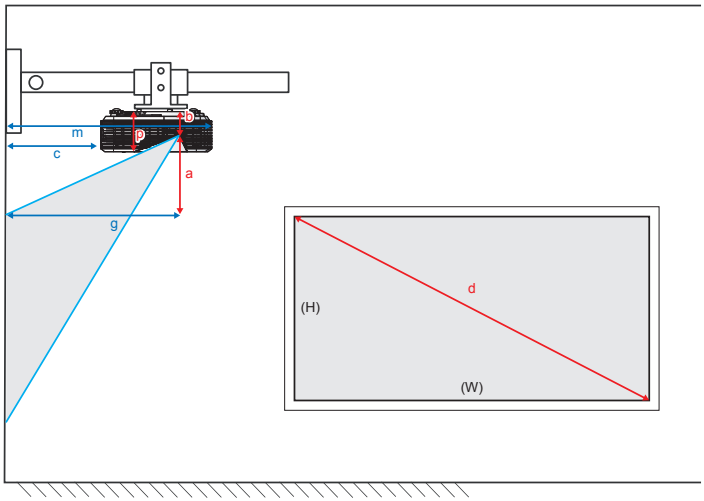


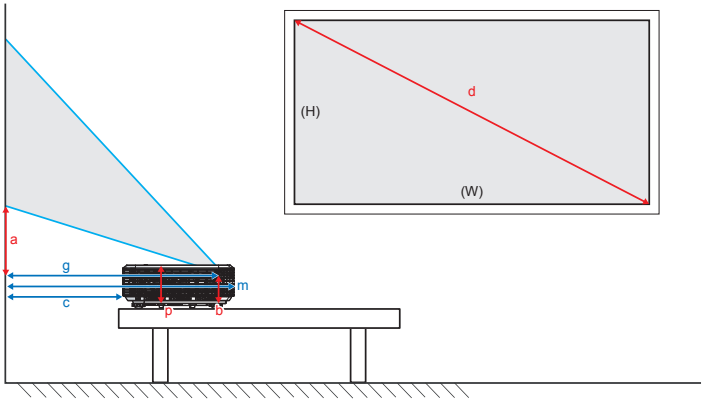
プロジェクタの画面サイズの調整

- 投影画像サイズ (XGA) は 1.78～2.54 メートルです。
- 投影画像サイズ (WXGA) は 2.16～2.92 メートルです。
- 投影画像サイズ (1080p) は 2.03～2.54 メートルです。

変数:

"**a**": レンズ中心から垂直画像の上部までの画像オフセット (m)。
"**b**": レンズ中心からプロジェクタの下部までの距離。
"**c**": 壁 (投影面) とプロジェクタ背面の間の距離。
"**d**": 画像の対角線。
"**g**": レンズ中心と壁 (投影面) の間の距離。
"**m**": 壁 (投影面) とプロジェクタ前面の間の距離。
"**p**": プロジェクタの上部から取り付け穴までの距離。
"**H**": 画像の高さ。
"**W**": 画像の幅。





設置方法

標準投影 XGA (4:3)

a	b	c	d	W		H		g		m	P
レンズ中心から垂直画像の上部までの画像オフセット (m)	レンズ中心からプロジェクタ下部までの距離 (m)	壁 (投影面) とプロジェクタ背面の間の距離 (m)	画像の対角線 (インチ)	画像サイズの幅		画像サイズの高さ		レンズ中心と壁 (投影面) の間の距離		壁 (投影面) とプロジェクタ前面の間の距離 (m)	プロジェクタの上部から取り付け穴までの距離 (m)
				(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(フィート)	(m)		
0.181	0.0631	0.219	70	56.0	1.42	42.0	1.07	1.55	0.47	0.5289	0.119
0.192	0.0631	0.246	74	59.2	1.50	44.4	1.13	1.64	0.50	0.5559	0.119
0.207	0.0631	0.287	80	64.0	1.63	48.0	1.22	1.77	0.54	0.5969	0.119
0.233	0.0631	0.354	90	72.0	1.83	54.0	1.37	1.99	0.61	0.6639	0.119
0.259	0.0631	0.422	100	80.0	2.03	60.0	1.52	2.21	0.68	0.7319	0.119

標準投影 WXGA (16:10)

a	b	c	d	W		H		g		m	P
レンズ中心から垂直画像の上部までの画像オフセット (m)	レンズ中心からプロジェクタ下部までの距離 (m)	壁 (投影面) とプロジェクタ背面の間の距離 (m)	画像の対角線 (インチ)	画像サイズの幅		画像サイズの高さ		レンズ中心と壁 (投影面) の間の距離		壁 (投影面) とプロジェクタ前面の間の距離 (m)	プロジェクタの上部から取り付け穴までの距離 (m)
				(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(フィート)	(m)		
0.172	0.0631	0.232	85	72.1	1.83	45.0	1.14	1.59	0.49	0.5419	0.119
0.176	0.0631	0.245	87	74.0	1.88	46.2	1.17	1.63	0.50	0.5549	0.119
0.182	0.0631	0.261	90	76.4	1.94	47.7	1.21	1.69	0.51	0.5709	0.119
0.202	0.0631	0.318	100	84.8	2.15	53.0	1.35	1.87	0.57	0.6279	0.119
0.222	0.0631	0.375	110	93.3	2.37	58.3	1.48	2.06	0.63	0.6849	0.119
0.232	0.0631	0.403	115	97.5	2.48	60.9	1.55	2.15	0.66	0.7129	0.119

標準投影 1080p (16:9)

a	b	c	d	W		H		g		m	P
レンズ中心から垂直画像の上部までの画像オフセット (m)	レンズ中心からプロジェクタ下部までの距離 (m)	壁 (投影面) とプロジェクタ背面の間の距離 (m)	画像の対角線 (インチ)	画像サイズの幅		画像サイズの高さ		レンズ中心と壁 (投影面) の間の距離		壁 (投影面) とプロジェクタ前面の間の距離 (m)	プロジェクタの上部から取り付け穴までの距離 (m)
				(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(フィート)	(m)		
0.179	0.0631	0.193	80	69.7	1.77	39.2	1.00	1.46	0.45	0.5029	0.119
0.200	0.0631	0.244	89	77.6	1.97	43.7	1.11	1.63	0.50	0.5539	0.119
0.202	0.0631	0.249	90	78.4	1.99	44.1	1.12	1.65	0.50	0.5589	0.119
0.224	0.0631	0.305	100	87.2	2.21	49.0	1.25	1.83	0.56	0.6149	0.119

❖ 表は、ユーザーの参考用の目安です。

コントロール パネルおよびリモコン

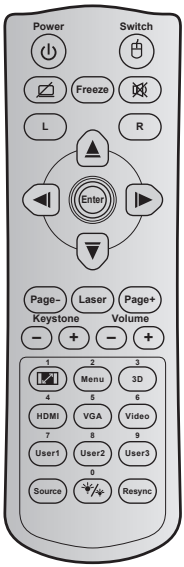
コントロール パネル



コントロール パネルのボタン		
電源		16～17ページの[プロジェクターの電源オン/オフ]を参照してください。
SOURCE		押して入力信号を選択します。
ランプ LED		プロジェクタのランプのステータスを表示します。
温度 LED		プロジェクタの温度ステータスを表示します。
IR レシーバ		リモコンから赤外線信号を受信します。

ユーザー管理

リモコン



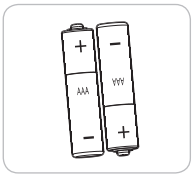


リモコンのボタン		
Power		押すとプロジェクタの電源がオン/オフになります。
スイッチ		押すとプロジェクタの USB マウスがオン/オフが切り替わります。
空白画面をディスプレイ/オーディオ消音		押すとスクリーンの画像が表示/非表示になり、オーディオのオフ/オンが切り替わります。
Freeze		押すとプロジェクタの画像が一時停止します。
消音		押すと一時的に音声のオン/オフを切り換えることができます。
マウスの左クリック	L	マウスの左クリックとして使用します。
マウスの右クリック	R	マウスの右クリックとして使用します。
4 方向選択キー		▲ ▼ ◀ ▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
Enter		選択した項目を確定します。
Page -		押すと前のページに戻ります。
Laser		レーザーポインタとして使用します。
Page +		押すと次のページに進みます。
Keystone		押すと、プロジェクタを斜め方向から投影することで生じる画像のゆがみを調整します。
Volume		押すと音量の増減の調整ができます。
アスペクト比 / 1		▸これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。 ▸テンキーの [1] として使用します。
Menu / 2		▸押すとプロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。 ▸テンキーの [2] として使用します。



リモコンのボタン

3D / 3		▸押すと 3D コンテンツに一致する 3D モードを手動で選択できます。 ▸テンキーの [3] として使用します。
HDMI / 4		▸押して HDMI ソースを選択します。 ▸テンキーの [4] として使用します。
VGA / 5		▸押して VGA ソースを選択します。 ▸テンキーの [5] として使用します。
Video / 6		▸押してコンポジット ビデオ ソースを選択します。 ▸テンキーの [6] として使用します。
User1 / 7; User2 / 8; User3 / 9		▸ユーザー定義キー。 ▸それぞれテンキーの [7]、[8]、[9] として使用します。
Source		押して入力信号を選択します。
輝度モード / 0		▸押すと、最適のコントラストパフォーマンスを発揮できるように画像の輝度を自動的に調整できます。 ▸テンキーの [0] として使用します。
Re-sync		押すと、プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。





電池の取り付け

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

メーカーが推奨するものと同一または同等の電池と交換してください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。

古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。

使い切った電池はすぐに取り外す。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。

本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。

長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。

電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

オンスクリーンディスプレーメニュー

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの[Menu]を押します。
2 OSD が表示されたら、◀▶ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼ または[Enter]キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▲▼ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、▶ あるいは[Enter]キーを押して詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [Enter]または[Menu]を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度[Menu]を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



メニュー ツリー（階層）

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	パラメータ	メニューの単一項目	値または既定値	注
イメージ	ディスプレー モード			プレゼンテーション / 明るい / ムービー / sRGB / ブラックボード / DICOM SIM. / 3D / ユーザー		各モードを調整し、ユーザーモードに保存できます。
	輝度				-50~ +50	
	コントラスト				-50~ +50	
	シャープネス				1~ 15	
	カラー				-50~ +50	
	色合い				-50~ +50	
	詳細	ノイズ リダクション			0~10	
		BrilliantColor™			1~10	
		γ		映画/ グラフィック/ 1.8/2.0/ 2.2/2.6/ブラックボード / DICOM SIM. / 3D		すべてのディスプレイモードに γ を選択することができます。
		色温度		標準/ 薄青 / 冷色		
		色空間		HDMI 入力なし: オート / RGB / YUV	オート	
				HDMI 入力: オート/ RGB(0~255) / RGB(16~235)/ YUV	オート	
		RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン			
			緑ゲイン			
			青ゲイン			
			赤バイアス			
			緑バイアス			
			青バイアス			
			リセット			現在のソースを RGB ゲイン/バイアスに対して現在のディスプレイモードでリセットします
			終了			
		カラーマッチング	赤	色合い/ 彩度 /ゲイン/ 終了	-50~ +50	
			緑	色合い/ 彩度 /ゲイン/ 終了	-50~ +50	
			青	色合い/ 彩度 /ゲイン/ 終了	-50~ +50	

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	パラメータ	メニューの単一項目	値または既定値	注
イメージ	詳細	カラーマッチング	青緑色	色合い/ 彩度 /ゲイン/ 終了	-50~ +50	
			マゼンタ色	色合い/ 彩度 /ゲイン/ 終了	-50~ +50	
			黄	色合い/ 彩度 /ゲイン/ 終了	-50~ +50	
			白	R/G/B/終了	-50~ +50	
			リセット			現在のソースを CMS 設定に対して現在のディスプレイモードでリセットします
			終了			
		終了				
	リセット			はい/いいえ		現在のソースを画像設定に対して現在のディスプレイモードでリセットします
ディスプレー	フォーマット			4:3	オート	
				16:9/16:10 [WXGA]		
				LBX		
				ネーティブ		
				オート	既定値は [オート] です	
	ズーム				-5 ~ +25	
	エッジマスク				0 ~ 10	
	映像移動調整	映像水平位置			-50~ +50	上/下/右/左 (中央のアイコン)
		映像垂直位置			-50~ +50	
	垂直キーストン				-15~ +15	1080p: -5~ +5
イメージ	3D	3Dモード		DLPリンク/ VESA 3D /オフ (プロジェクタに VESA ポートがない場合は、[IR]を使用してください)	DLPリンク	
		3D->2D		3D/ L/ R		3D モードがオフに設定されている場合、項目はグレイアウトされます。
		3D映像フォーマット		オート/ Side By Side/ Top and Bottom/ Frame Sequential		
		3D同期反転		オン/オフ	オフ	
		終了				

ユーザー管理

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	パラメータ	メニューの単一項目	値または既定値	注
設定	言語			English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Polski / Nederlands / Svenska / Norsk/Dansk / Suomi / Ελληνικά/ 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Русский / Magyar / Čeština / عربي / Türkçe / فارسی / Română/Slovenčina	日本語	
	投射方式			正面 - 卓上 	正面天吊り	
				裏面 - 卓上 		
				正面 - 天吊り 		
				裏面 - 天吊り 		
	画面のタイプ			16:10/16:9 (WXGA モデル)	既定値は[16:10]です	
	メニュー位置			左上 	中央	
				右上 		
				中央 		
				左下 		
				右下 		

ユーザー管理

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	パラメータ	メニューの単一項目	値または既定値	注
設定	セキュリティ	セキュリティ設定		オン/オフ	オフ	
		セキュリティタイマー		月	0~12	[セキュリティ]が選択されている場合、パスワードが必要です。
				日	0~30	
				時	0~24	
				終了		
		パスワード変更				
		終了				
	Signal (RGB)	周波数			-5~+5	信号に依存します
		位相			0~63	
		水平位置			-5~+5	
		垂直位置			-5~+5	
		自動的	有効/ 無効			
		終了				
	Signal (Video)	ホワイトレベル			-50~+50	
		ブラックレベル			-50~+50	
		終了				
	プロジェクター ID				00~99	
	音声設定	内蔵スピーカー		オン/オフ	オン	コンポジット用オーディオ 1 (RCA) VG A用オーディオ 2 (ミニジャック)
		消音		オン/オフ	オフ	
		音量	オーディオ		0-10	
			マイク		0-10	
		オーディオ入力		デフォルト/ オーディオ 1/ オーディオ 2	デフォルト	
		終了				
	詳細	ロゴ		Optoma/ニュートラル/ユーザー	Optoma	
		ロゴキャプチャ				
		クローズドキャプション		CC1/CC2/オフ	オフ	
		終了				

ユーザー管理

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	パラメータ	メニューの単一項目	値または既定値	注
設定	ネットワーク	LAN設定	ネットワークのステータス	読み取り専用		このページではタイムアウトしません。
			DHCP	オン/オフ		
			IPアドレス			
			サブネットマスク			
			ゲートウェイ			
			DNS			
			適用	はい/いいえ		
			Macアドレス	読み取り専用		
			終了			
		コントロール設定	Crestron	オン/オフ	オン	
			Extron	オン/オフ	オン	
			PJ Link	オン/オフ	オン	
			AMX Device Discovery	オン/オフ	オン	
			Telnet	オン/オフ	オン	
			終了			
オプション	入力ソース			HDMI 1/ HDMI 2/ VGA1/ VGA2/ ビデオ		信号入力がない場合、ユーザーは、OSD から[入力ソース]に対する選択を行うことができます。
				終了		
	ソースロック			オン/オフ	オフ	
	高度			オン/オフ	オフ	
	信号捜索情報隠し			オン/オフ	オフ	
	キーパッドロック			オン/オフ	オフ	
	テストパターン			なし / グリッド (白)/ グリッド (緑)/ グリッド (マゼンタ色)/ 白	なし	
	背景色			青 / 黒 / 赤 / 緑/ 白	青	既定値は[青]です
	12Vトリガ			オン/オフ	オン	
	VGA2 Switch			In/Out	Out	

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	パラメータ	メニューの単一項目	値または既定値	注
オプション	詳細	電源探知オートパワーオン		オン/オフ		
		信号検知オートパワーオン		オン/オフ		
		自動電源オフ(分)			0~180	
		スリープ タイマー(分)			0~990	
		電源モード (スタンバイ)		アクティブ/ エコ	エコ	
		クイック レジューム		オン/オフ	オフ	
		リモート設定	ユーザー1	HDMI 2/ VGA2/ テストパターン/ LAN/ 輝度/ コントラスト/ Sleep Timer/ カラーマッチング/ 色温度/ γ / ソースロック / 投射方式/ ランプ設定/ ズーム/ フリーズ	HDMI 2	
			ユーザー2	HDMI 2/ VGA2/ テストパターン/ LAN/ 輝度/ コントラスト/ Sleep Timer/ カラーマッチング/ 色温度/ γ / ソースロック / 投射方式/ ランプ設定/ ズーム/ フリーズ	VGA2	
			ユーザー3	HDMI 2/ VGA2/ テストパターン/ LAN/ 輝度/ コントラスト/ Sleep Timer/ カラーマッチング/ 色温度/ γ / ソースロック / 投射方式/ ランプ設定/ ズーム/ フリーズ	テストパターン	
		終了				
	ランプ設定	ランプ使用時間		読み取り専用 [レンジ 0~9999]		
		ランプリセット		はい/いいえ	いいえ	
		ランプ警告		オン/オフ	オン	
		節電モード		明るい/ エコ/ ダイナミック省電モード/ Eco+	明るい	
		終了				
	Filter Settings	エアマスク使用時間		読み取り専用 [レンジ 0~9999]		
		エアフィルタ使用通知		オフ/ 300 hr/ 500 hr/ 800 hr/ 1000 hr	500 hr	
		エアフィルタ使用時間リセット		はい/いいえ	いいえ	
		終了				

ユーザー管理

メイン メニュー	サブ メニュー	詳細メニュー	パラメータ	メニューの単一項目	値または既定値	注
オプション	リセット			現在/全部		現在の定義: 全 OSD 設定を現在のソースおよびタイミングに対してリセットします。 全部の定義: 全 OSD 設定をすべてのソースおよびタイミングに対してリセットします。

イメージ



ディスプレーモード

さまざまなイメージタイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- プレゼンテーション: このモードは、PC に接続した状態でオーディエンスに公開する場合に適しています。
- 明るい: PC入力に対する最大輝度。
- ムービー: このモードはビデオ再生に適しています。
- ユーザー: ユーザー設定を保存します。
- ブラックボード: 黒板(緑)上に投射する場合に、最適な色設定を得るために選択する必要があります。
- DICOM SIM.: このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。
- sRGB: 標準化された正確なカラー。
- 3D: 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意し、ご使用の PC /ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを備わっており、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

ユーザー管理



輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶ を押すと画像が明るくなります。



コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが上がります。



シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すとシャープネスが弱まります。
- ▶を押すとシャープネスが強まります。



カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀を押すと画像の彩度が減少します。
- ▶を押すと画像の彩度が増加します。



色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀を押し、画像の緑の量を増やします。
- ▶を押し、画像の赤の量を増やします。



リセット

[はい] を選択すると[イメージ]の工場出荷時設定に戻ります。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

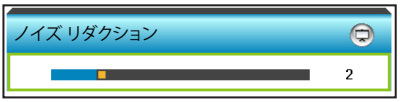
イメージ | 詳細



ノイズ リダクション

フィルタのノイズに対する感度を選択します。高い値はノイズの多いソースを改善しますが、画像がソフトになります。

- ◀ を押し、画像のノイズを減らします。
- ▶ を押し、画像のノイズを増やします。



γ

これにより、γ のカーブタイプを設定できます。初期セットアップと微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- 映画: ホームシアター用。
- グラフィック: PC/フォトソース用。
- ブラックボード: 黒板(緑)上に投射する場合に、最適な色設定を得るために選択する必要があります。
- DICOM SIM.: このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。

◀ または ▶ を押し、モードを選択します。



BrilliantColor

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。

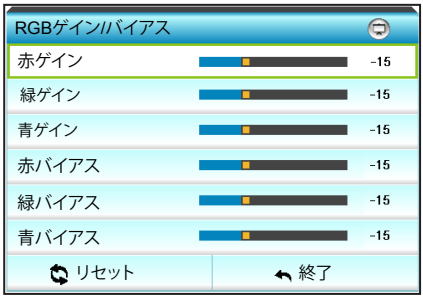
- ◀ を押すと、画像がより強調されます。
- ▶ を押すと、画像の強調が弱くなります。



RGBゲイン/バイアス

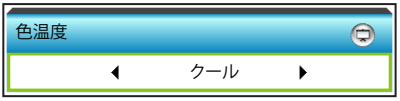
この設定により、画像の輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を調整することができます。

- ◀ を押して、選択した色のゲインとバイアスを減少させます。
- ▶ を押して、選択した色のゲインとバイアスを増加させます。



色温度

◀ または ▶ を押して、標準、薄青 および 冷色 から色温度を選択します。

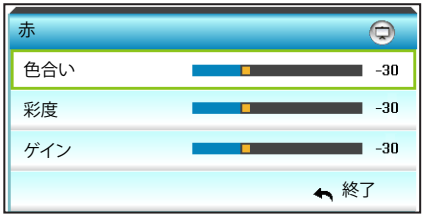


カラーマッチング

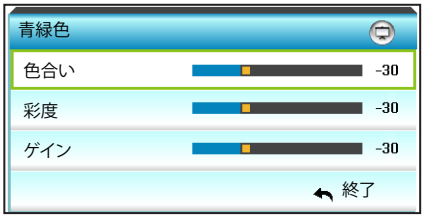
次のメニューで ▶ を押し、▲、▼、◀ または ▶ を使って項目を選びます。



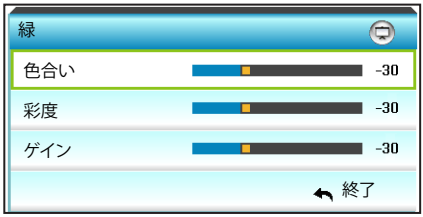
- 赤: ▲ または ▼ を押して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。その後、◀ または ▶ を押して、それぞれの値を増減させます。



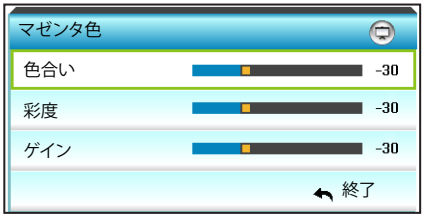
- 青緑色: ▲ または ▼ を押して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。その後、◀ または ▶ を押して、それぞれの値を増減させます。



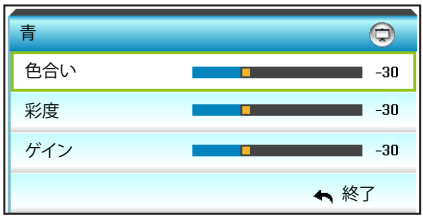
- 緑: ▲ または ▼ を押して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。その後、◀ または ▶ を押して、それぞれの値を増減させます。



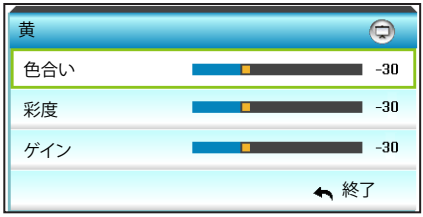
- マゼンタ色: ▲ または ▼ を押して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。その後、◀ または ▶ を押して、それぞれの値を増減させます。



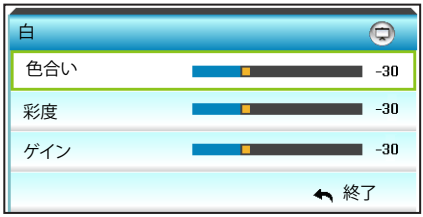
- 青: ▲ または ▼ を押して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。その後、◀ または ▶ を押して、それぞれの値を増減させます。



- 黄: ▲ または ▼ を押して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。その後、◀ または ▶ を押して、それぞれの値を増減させます。



- 白: ▲ または ▼ を押して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。その後、◀ または ▶ を押して、それぞれの値を増減させます。

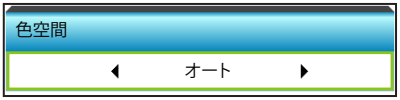


- リセット: [🔄] リセットを選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

色空間

◀ または ▶ を押して、以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します:

- HDMI 入力なし: オート、RGB または YUV
- HDMI 入力: オート、RGB (0-255)、RGB (16-235) または YUV。



リセット

- 現在: [はい]を選択するとこのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。
- 全部: [はい]を選択するとすべてのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

終了

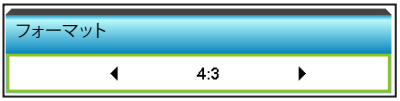
[終了] を選択するとメニューが終了します。

ディスプレー



フォーマット

◀ または ▶ を押して、4:3、16:9/16:10 (WXGA)、LBX、ネーティブおよびオートから目的のアスペクト比を選択します。



XGA

- 4:3: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:9: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- オート: 適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

ソース	480i/p	576i/p	1080i/p	720p
4:3	1024 x 768 に調整します			
16:9	1024 x 576 に調整します			
ネーティブ	スケーリングなし。解像度は使用する入力ソースにより異なり、ソースに準じて表示されます			
オート	▶ ソースが 4:3 の場合、サイズは自動的に 1024 x 768 に設定されます ▶ ソースが 16:9 の場合、サイズは自動的に 1024 x 576 に設定されます ▶ ソースが 15:9 の場合、サイズは自動的に 1024 x 614 に設定されます ▶ ソースが 16:10 の場合、 サイズは自動的に 1024 x 640 に設定されます			

WXGA

- 4:3: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:9: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- 16:10: このフォーマットは ワイドスクリーン ラップトップ同様、16:10 入力ソース用です。
- LBX: 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- オート: 適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

LBX モードに関する詳細情報:

1. 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
2. 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	960 x 720 に調整します				
16:9	1280 x 720 に調整します				
LBX	1280 x 960 に調整し、次に中央 1280 x 720 画像を表示します				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング		1:1 マッピング表示 1280 x 720	中央に表示 1280 x 720	1:1 中央にマッピング
オート	▸このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1280 x 720) に設定されます ▸ソースが 4:3 の場合、サイズは自動的に 960 x 720 に設定されます ▸ソースが 16:9 の場合、サイズは自動的に 1280 x 720 に設定されます ▸ソースが 15:9 の場合、サイズは自動的に 1200 x 720 に設定されます ▸ソースが 16:10 の場合、 サイズは自動的に 1152 x 720 に設定されます				

16:10 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1066 x 800 に調整します				
16:10	1280 x 800 に調整します				
LBX	1280 x 960 に調整し、次に中央 1280 x 800 画像を表示します				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング		1:1 マッピング表示 1280 x 800	中央に表示 1280 x 720	1:1 中央にマッピング
オート	▶ 入力ソースは 1280x800 表示に合わせて調整され、アスペクト比はもとの比率を保ちます ▶ ソースが 4:3 の場合、1066 x 800 に自動的にサイズ変更されます ▶ ソースが 16:9 の場合、1280 x 720 に自動的にサイズ変更されます ▶ ソースが 15:9 の場合、1280 x 768 に自動的にサイズ変更されます ▶ ソースが 16:10 の場合、1280 x 800 に自動的にサイズ変更されます				

1080P

- 4:3: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:10: このフォーマットは ワイドスクリーン ラップトップ同様、16:10 入力ソース用です。
- LBX: 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- オート: 適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1440 x 1080 にスケーリングされます				
16:10	1920 x 1080 にスケーリングされます				
LBX	1920 x 1440 に調整し、次に中央 1920 x 1080 画像を表示します				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング スケーリングなし。解像度は使用する入力ソースにより異なり、ソースに準じて表示されます				
オート	▶ このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 になります ▶ ソースが 4:3 の場合、1440 x 1080 に自動的にサイズ変更されます ▶ ソースが 16:9 の場合、1920 x 1080 に自動的にサイズ変更されます ▶ ソースが 16:10 である場合、自動的に 1920 x 1200 にサイズ変更され、1920 x 1080 の領域が表示用に切り出されます				

ズーム

- ◀ を押すと画像のサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投影された画像が拡大します。



エッジマスク

イメージをエッジマスクしてビデオ ソースのエッジのビデオ エンコード ノイズを削除します。

- ◀ を押し、画像のエッジマスクを減らします。
- ▶ を押し、画像のエッジマスクを増やします。

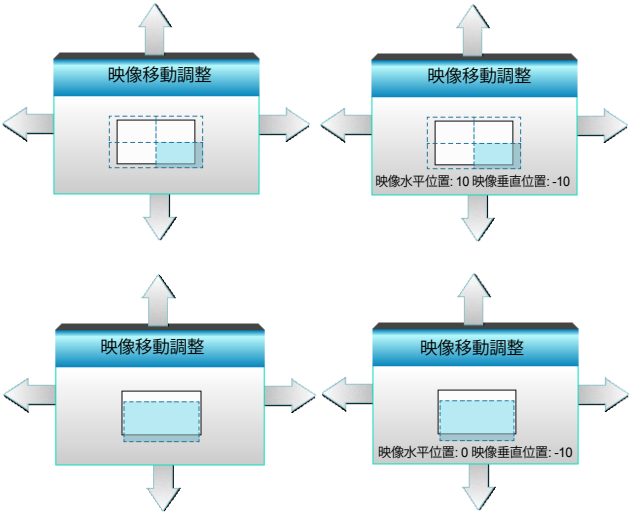


NOTE

- 各 I/O には別々の [エッジマスク] の設定があります。
- [エッジマスク] と [ズーム] は同時に機能できません。

映像移動調整

下図のように次のメニューで▶ を押し、その後、▲、▼、◀ または ▶ を押して、項目を選択します。



- 映像水平位置: ◀ ▶ を押して、投影された画像位置を水平にシフトします。
- 映像垂直位置: ▲ ▼ を押して、投影された画像位置を垂直にシフトします。

垂直キーストン

◀ または ▶ を押すと、画像の垂直の歪みが調整され正方形の画像が得られます。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

ディスプレー | 3D



3Dモード

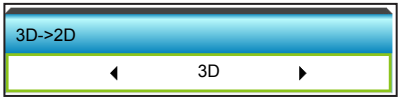
- オフ:[オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- ◀ または ▶ を押し、3D モードを選択します。



- DLPリンク: [DLPリンク]を選択してDLPリンク3D眼鏡の最適化された設定を使用します。(15ページを参照してください)。
- VESA 3D: [VESA 3D]を選択して VESA 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。(15ページを参照してください)。

3D->2D

- ◀ または ▶ を押し、3D -> 2D を選択します。



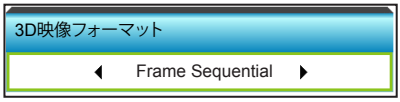
- 3D: 3D 信号を表示します。
- L (左): 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- R (右): 3D コンテンツの右フレームを表示します。

NOTE

- 3D映像フォーマット は、94 ページの 3D タイミングでのみサポートされます。
- [3D映像フォーマット] は非HDMI 1.4a 3D タイミングでのみサポートされます。

3D映像フォーマット

- ◀ または ▶ を押し、3D 映像フォーマットを選択します。



- オート: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- Side By Side: [サイドバイサイド] フォーマットで3D信号を表示します。
- Top and Bottom: 3D 信号を [Top and Bottom] フォーマットで表示します。
- Frame Sequential: 3D 信号を [Frame Sequential] フォーマットで表示します。

3D同期反転

- ◀ または▶ を押し、3D 同期反転を選択します。



- 左右のフレームコンテンツを反転するには、[オン] を押します。
- デフォルトのフレームコンテンツの場合、[オフ] を押します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定


設定
言語
投射方式
メニュー位置
音声設定
画面のタイプ
16:10
セキュリティ
プロジェクター ID
0
信号 (RGB)
詳細
ネットワーク
終了
信号 (ビデオ)
詳細
ネットワーク
終了

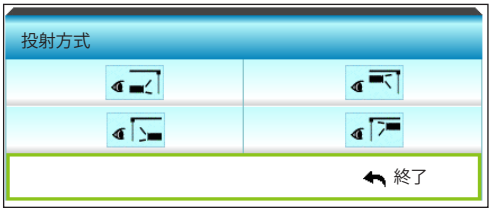
言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。▶ を押してサブメニューに入り、その後、▲、▼、◀ または ▶ キーを押し、お好みの言語を選択します。[Enter] を押して、パスワードを設定します。



投射方式

▲、▼、◀ または ▶ キーを押し、お好みの投影を選択します。



- 正面-投射

  これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。
- 裏面-卓上

  選択されると、画像を左右逆向きに表示します。
- 正面-天吊り

  選択されると、画像を上下逆向きに表示します。
- 裏面-天吊り

  選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

NOTE

❖ 裏面-卓上および裏面-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

ユーザー管理

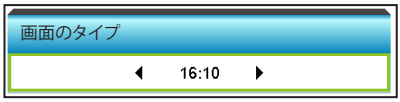
メニュー位置

▲、▼、◀ または ▶ キーを押し、お好みのメニュー位置を選択します。



画面のタイプ

◀ または ▶ を押し、スクリーンタイプを 16:10* または 16:9 から選択します。



❖ * このスクリーンタイプは、WXGA に対してのみ適用されます。

プロジェクター ID

ID 定義をメニュー（0～99まで）で設定できます。ユーザーは RS232 で個別のプロジェクタをコントロールできるようになります。

- ◀ を押すと、プロジェクタ ID 番号が小さくなります。
- ▶ を押すと、プロジェクタ ID 番号が大きくなります。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | 音声設定



❖ [消音] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーのオンまたはオフを切り替えるには、[オン]または[オフ]を選択します。



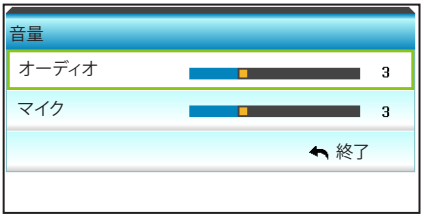
消音

- [オン] を選択すると消音が有効になります。
- [オフ] を選択すると消音が無効になります。



音量

- ◀ を押すと音量が小さくなります。
- ▶ を押すと音量が大きくなります。



オーディオ入力

デフォルトの音声設定は、プロジェクタの背面パネルにあります。このオプションを使ってオーディオ入力 (1または2) を現在のイメージソースに再度適用します。それぞれのオーディオ入力は複数のビデオソースに割り当てることができます。

- ◀ または ▶ を押して、オーディオ入力を選択します。



- デフォルト.
- オーディオ 1: コンポジット用 (RCA)
- オーディオ 2: VGA用 (ミニジャック)

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | セキュリティ



セキュリティ

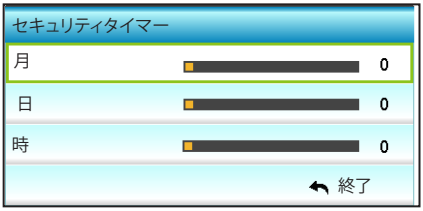
- オン: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- オフ: [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。



セキュリティタイマー

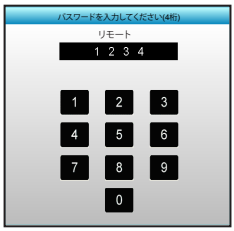
時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクタの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。

◀ または ▶ を押して、月、日、時刻を設定します。



ユーザー管理

❖ デフォルトのパスコードは、[1234](初回時) です。



パスワード変更

- はじめて設定するとき:

1. [Enter] キーを押して、パスワードを設定します。
2. パスワードは4桁で設定します。
3. リモコンの数字ボタンまたは画面上のテンキーを押して新規パスワードを入力し、[Enter] キーで確定します。

- パスワード変更:
(リモートに数字キーパッドが付いていない場合、上下矢印を使用してパスワードのそれぞれの数字を変更し [Enter] を押して確認してください)

1. [Enter]を押して、古いパスワードを入力します。
2. 数字ボタンまたは画面上のテンキーを使用して現在のパスワードを入力し、[Enter] キーで確定します。
3. リモコンの数字ボタンを使って新しいパスワード(4桁)を入力し、[Enter] を押して確定します。
4. もう一度新しいパスワードを入力し、[Enter] を押して確定します。

- 間違ったパスワードを3回続けて入力すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
- パスワードを忘れてしまった場合、お近くのサポートセンターにお問い合わせください。

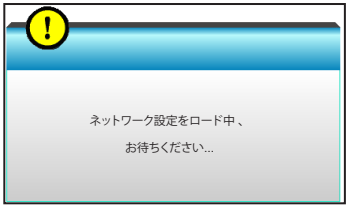
終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | ネットワーク



LAN設定



LAN 設定に関する詳細情報は、58 ～ 59 ページおよび 62 ～ 69 ページを参照してください

コントロール設定

コントロール設定に関する詳細情報は、60 ～ 69 ページを参照してください。

設定 | ネットワーク| LAN設定



ネットワークのステータス

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

Macアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

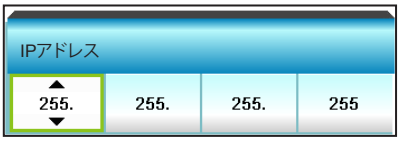
DHCP



- オン: プロジェクタがネットワークから自動的に IP アドレスを取得します。
- オフ: IP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 構成を手動で割り当てます。

既存の OSD が、入力した値を自動的に適用します。

IPアドレス



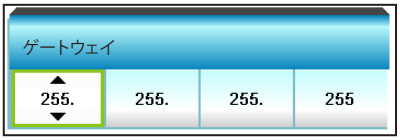
IP アドレスを表示します。

サブネットマスク



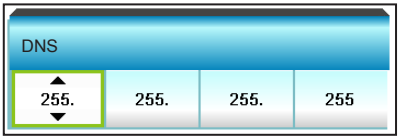
サブネットマスク番号を表示します。

ゲートウェイ



プロジェクタに接続しているネットワークのデフォルト ゲートウェイを表示します。

DNS



DNS 番号を表示します。

適用

► を押し、[はい] を選択して選択を適用します。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | ネットワーク| コントロール設定



Crestron



この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート: 41794). 詳細は、http://www.crestron.com および www.crestron.com/getroomview にアクセスしてください。

- オン: Crestron 機能は作動しています。
- オフ: Crestron 機能は作動していません。

Extron



この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート: 2023).

- オン: Extron 機能は作動しています。
- オフ: Extron 機能は作動していません。

PJ Link



この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート: 4352).

- オン: PJ Link 機能は作動しています。
- オフ: PJ Link 機能は作動していません。

AMX Device Discovery



この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート: 1023).

- オン: AMX Discovery 機能は作動しています。
- オフ: AMX Discovery 機能は作動していません。

Telnet



この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート: 23).

- オン: Telnet は有効です。
- オフ: Telnet は無効です。

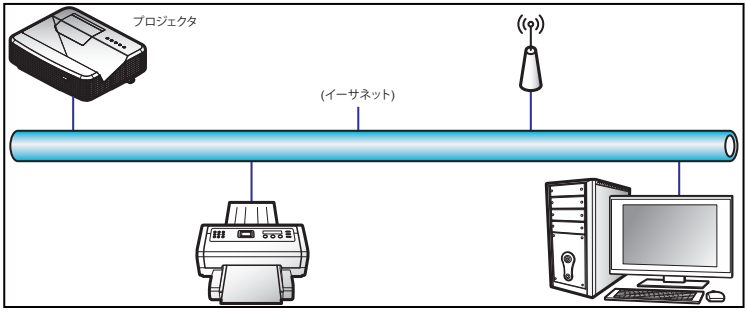
終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

LAN_RJ45 機能

簡潔さと操作を容易にするために、プロジェクタは多様なネットワークおよびリモート管理機能を提供します。ネットワークを介するプロジェクタのLAN/RJ45 機能により、リモート管理機能 (電源オン/オフ、輝度およびコントラスト設定) を提供します。また、プロジェクタのステータス情報 (ビデオソース、サウンドミュートなど) を取得します。

❖ イーサネット標準ケーブルを使って、プロジェクタを LAN に接続します。



有線 LAN 端末機能

本プロジェクタは、LAN/RJ45 ポートを介して、PC (ノート PC) または他の外部デバイスを使って制御することができ、Crestron/Extron/AMX (Device Discovery)/PJLink と互換性があります。

- Crestron は、米国の Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- Extron は、米国の Extron Electronics, Inc.の登録商標です。
- AMX は、米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は、JBMIA により、日本、米国およびその他の国において、商標およびロゴ登録の申請がされています。

有線 LAN 端末機能

プロジェクタは、Crestron Electronics コントローラの特定のコマンドおよび RoomView® などの関連ソフトウェアによりサポートされます。

http://www.crestron.com/

本プロジェクタは、参考のため Extron デバイスをサポートするために準拠しています。

http://www.extron.com/

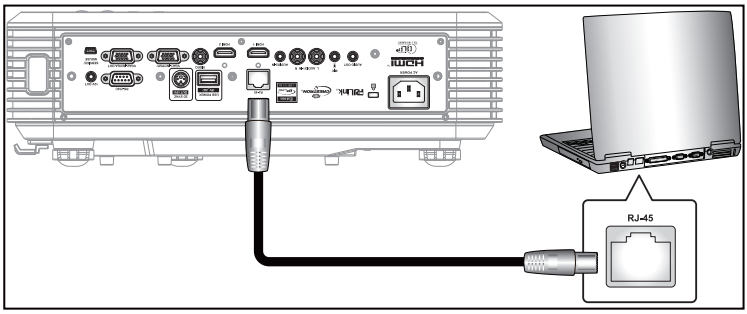
本プロジェクタは、AMX (Device Discovery) によりサポートされます。

http://www.amx.com/

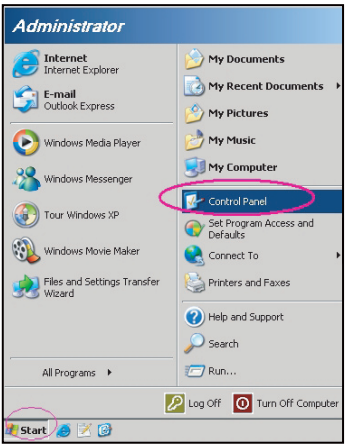
本プロジェクタは、PJLink クラス1 (バージョン 1.00) の全コマンドをサポートします。
http://pjlink.jbmia.or.jp/english/
LAN/RJ45 ポートに接続できる外部デバイスの種類、プロジェクタのリモート/コントロール、および、外部デバイスによりサポートされるコマンドに関する詳細情報については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

LAN RJ45

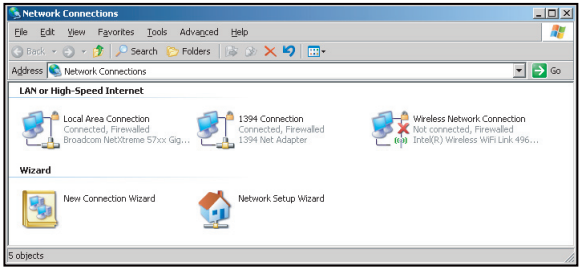
1. RJ45 ケーブルをプロジェクタの RJ45 ポートと PC (ノート PC) に接続します。



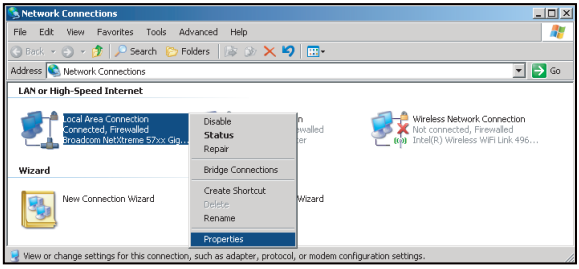
2. PC (ノート PC) 上で、[スタート]>[コントロールパネル]]>[ネットワーク接続]を選択します。



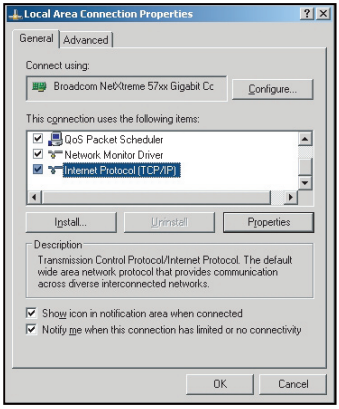
3. ローカルエリア接続を右クリックし、プロパティを選択します。



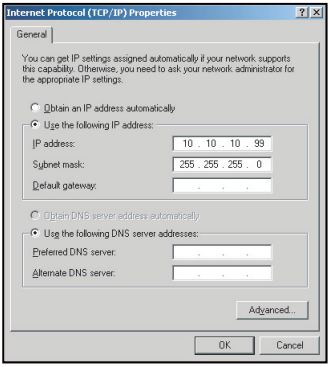
4. プロパティウィンドウで、全般タブを選択し、インターネットプロトコル (TCP/IP)を選択します。



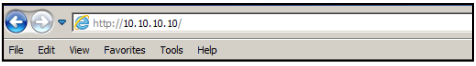
5. [プロパティ]をクリックします。



6. IP アドレスおよびサブネットマスクを入力し、[OK]を押します。

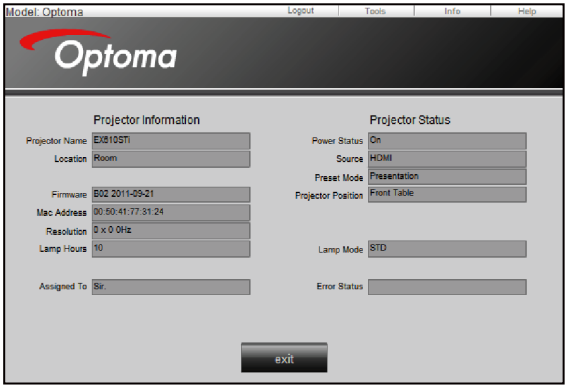


7. プロジェクタの[Menu]ボタンを押します。
8. ◀▶ キーを使って、設定 > ネットワーク > LAN設定 を選択します。
9. LAN 設定を取得した後、以下の接続パラメータを入力します:
   - DHCP: オフ
   - IPアドレス: 10.10.10.10
   - サブネットマスク: 255.255.255.255
   - ゲートウェイ: 0.0.0.0
   - DNS: 0.0.0.0
10. [Enter]を押し、設定を確定します。
11. Web ブラウザ、例えば、Adobe Flash Player 9.0 またはそれ以上をインストールした Microsoft Internet Explorer を開きます。
12. アドレスバーに、プロジェクタの IP アドレスを入力します: 10.10.10.10.



13. [Enter]を押します。
プロジェクタは、リモート管理用に設定されました。LAN/RJ45 機能が次のように表示されます:

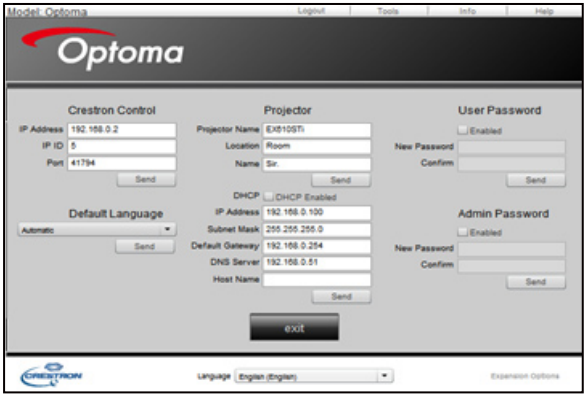
情報ページ



メインページ



ツールページ



IT ヘルプデスクに連絡



Telnet 機能による RS232

RS232 コマンド制御の代替方法があります。プロジェクタでは、LAN/RJ45 インターフェイスに対する[TELNET による RS232]と呼ばれます。

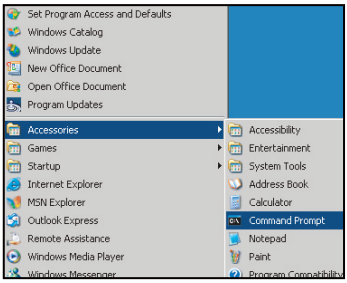
ユーザー管理

[Telnet による RS232]のクイックスタートガイド

- プロジェクタの OSD 上で IP アドレスを確認し、取得します。
- PC/ノート PC がプロジェクタの Web ページにアクセスできることを確認します。
- PC/ノート PC により[TELNET]機能がフィルタリングされている場合、[Windows ファイアウォール]設定が無効であることを確認します。



1. スタート>すべてのプログラム> アクセサリ>コマンドプロンプトに進みます。



2. 以下のようなコマンドフォーマットを入力します:
   telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter]キーを押します)
   (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクタの IP アドレス)
3. Telnet 接続が完了したら、RS232 コマンドを入力し、[Enter]キーを押すと、RS232 コマンドが実行されます。

❖ Windows XP に組み込まれている[TELNET.exe]ユーティリティでは、[エンター]キーの押下は、[キャリッジリターン]と[改行]のコードを持ちます。

[TELENT による RS232]の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細は、サービスエージェントまたはサービスチームにお問合せください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet による RS232 の通常の切断方法: Close
5. 接続完了後、Windows Telnet ユーティリティを直接閉じます。
   - Telnet 制御に対する制限 1: Telnet 制御アプリケーションに対する連続的なネットワークペイロードは 50 バイト未満にする必要があります。
   - Telnet 制御に対する制限 2: Telnet 制御に対する 1 つの完全な RS232 コマンドは 26 バイト未満するする必要があります。
   - Telnet 制御に対する制限 3: 次の RS232 コマンドに対する最小遅延は 200 (ms) より大きくなくてはなりません。

設定 | 信号 (RGB)



- [信号] は、アナログ VGA (RGB) 信号でのみサポートされます。
- [信号] が自動に設定されている場合、位相と周波数アイテムはグレー表示になります。[信号] が自動に設定されていない場合、ユーザーが設定を手動で調整し保存できるように位相と周波数アイテムが表示されます。この設定はプロジェクタをオフにして、再度オンにした後にも保存されています。

自動的



信号を自動設定します。この機能を使用すると、位相と周波数アイテムはグレー表示になります。この機能が無効になっている場合、ユーザーが設定を手動で調整し保存できるように位相と周波数アイテムが表示されます。この設定はプロジェクタをオフにして、再度オンにした後にも保存されています

位相



ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

- ◀ を押すと位相値が小さくなります。
- ▶ を押すと位相値が大きくなります。

周波数



ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。

- ◀ を押すと周波数が小さくなります。
- ▶ を押すと周波数が大きくなります。

水平位置 (水平位置)



- ◀を押すと画像が左に移動します。
- ▶ を押すと画像が右に移動します。

垂直位置 (垂直位置)



- ◀ を押すと画像が下に移動します。
- ▶ を押すと画像が上に移動します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | 信号 (ビデオ)



ホワイトレベル



ゲインを入力画像に適用することで、投影画像のホワイトレベル全体を調整します。

- ◀ を押すとホワイトレベルが減少します。
- ▶ を押すとホワイトレベルが増加します。

ブラックレベル



オフセットを入力画像に適用することで、投影画像のブラックレベル全体を調整します。

- ◀ を押すとブラックレベルが減少します。
- ▶ を押すとブラックレベルが増加します。

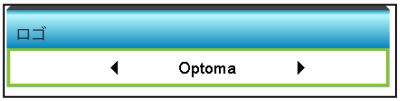
終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | 詳細



ロゴ

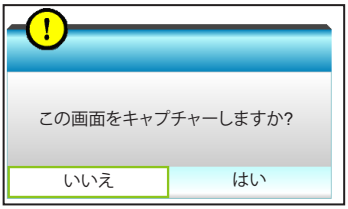


この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- ニュートラル: ロゴは起動画面に表示されません。
- Optoma: Optoma ロゴは起動画面に表示されません。
- ユーザー: ユーザー定義の背景が起動画面に表示されます。

ロゴキャプチャ





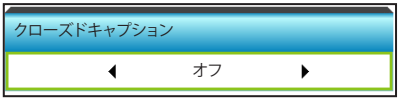


NOTE

- ロゴキャプチャを正常に行うには、画面上のイメージがプロジェクタのネイティブ解像度を超えていないことを確認してください (1280 x 800)。

[オン]および[はい]を選択して、スクリーンに現在表示されている画像をキャプチャします。

クローズドキャプション



クローズドキャプションはプログラムの音声あるいはその他の情報をテキストとして画面上に表示します。入力信号がクローズドキャプションを含んでいる場合、この機能をオンにしてチャンネルを閲覧することができます。◀ または ▶ を押し、CCI または CC2 を選択します。[オフ]を選択するとこの機能が無効になります。

終了

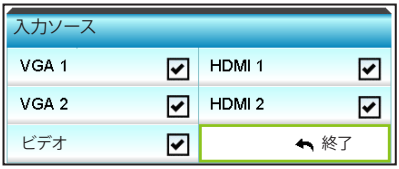
[終了] を選択するとメニューが終了します。

オプション



入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。▶ を押して、サブ メニューに入り、必要なソースを選択します。[Enter] を押して、パスワードを設定します。プロジェクタは、有効になっている入力のみを検索します。



ソースロック

- オン: プロジェクタは、現在の入力接続のみを検索します。
- オフ: 現在の入力シグナルがない場合、プロジェクタは他のシグナルを検索します。



高度

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。



NOTE

- [VGA2]は[VGA2 Switch]の設定に依存します。

信号捜索情報隠し

- オン: [オン]を選択すると、情報メッセージが非表示になります。
- オフ: [オフ]を選択すると、[検索中] メッセージが非表示になります。



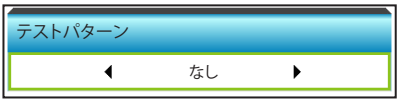
キーパッドロック

キーボード ロック機能が [オン] の場合、キーパッドはロックされますが、プロジェクタはリモコンによって操作できます。[オフ]を選択すると、キーパッドをロック解除できます。



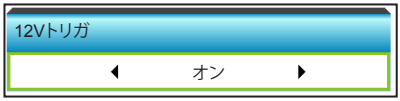
テストパターン

テストパターンを表示します。グリッド、ホワイトパターン、なしがあります。



12Vトリガ

- オフ: [オフ] を選択するとトリガが無効になります。
- オン: [オン] を選択するとトリガが有効になります。



オプション



背景色

信号が使用できないとき、この機能を使用して[黒]、[赤]、[青]、[緑]、[白]画面を表示します。



VGA2 Switch

[VGA2 Switch]機能が[In]である場合、VGA2 ポートは入力ポートとして機能します。[VGA2 Switch]が[Out]である場合、ポートは、VGA1 に対する出力ポートとして機能します。



リセット

- 現在: [はい]を選択するとこのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。
- 全部: [はい]を選択するとすべてのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

オプション | ランプ設定



NOTE

- 操作中に室温が 40°C を超えると、プロジェクタは自動的にエコモードに切り替わります。
- ダイナミックモード—ランプの消費電力を動的に 100%～30% の間で調整します。

ランプ使用時間

投射時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。
メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。



節電モード

- 明るい: [明るい] を選択すると明るさが向上します。
- エコ: [エコ] を選択するとプロジェクタランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- ダイナミック省電モード: [ダイナミック省電モード] を選択すると、コンテンツの輝度レベルを基にランプが薄暗くなるとともに、ランプの消費電力を動的に 100%～30% の間で調整します。これにより、ランプの寿命が長くなります。
- Eco+: エコプラスモードがアクティブになっているとき、コンテンツの輝度レベルが自動的に検出され、活動していない期間中ランプの消費電力を大幅に (最大 70%) 削減します。



ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

モードおよび機能別のランプの動作:

節電モード	明るい	エコ	ダイナミック省電モード	Eco+
ホワイトパターン	100%	80%	100%	80%
調光範囲	該等なし	該等なし	100%~30%	80%~30%
ブラックパターン	100%	80%	30% (スリープモード)	30% (スリープモード)
AV 消音	30% (スリープモード)	30% (スリープモード)	30% (スリープモード)	30% (スリープモード)
クイック レジューム	30% (スリープモード)	30% (スリープモード)	30% (スリープモード)	30% (スリープモード)

オプション | 詳細



電源探知オートパワーオン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクタは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになり、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの[⏻]キーを押す必要はありません。



❖ 入力ソースがビデオである場合、信号検知オートパワーオン機能は適用できません。

信号検知オートパワーオン

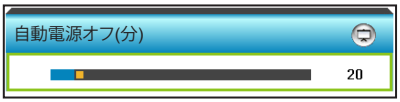
[オン]を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクタは信号が検出されると自動的にオンになり、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの[⏻]キーを押す必要はありません。



❖ スリープタイマーの値は、プロジェクタの電源がオフになった後にゼロにリセットされます。

自動電源オフ(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。



- ◀ を押すとタイマー間隔が短くなります。
- ▶ を押すとタイマー間隔が長くなります。

スリープ タイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。



- ◀ を押すとタイマー間隔が短くなります。
- ▶ を押すとタイマー間隔が長くなります。

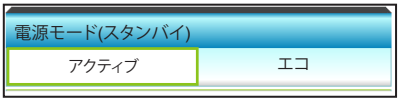
クイック レジューム

- オン: プロジェクタが間違ってオフになった場合、100 秒以内に選択すると、この機能によりプロジェクタの電源を直ちにオンにできます。
- オフ: プロジェクタをオフにすると、システムは 10 秒後に冷却を開始します。



電源モード(スタンバイ)

- エコ: [エコ]を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。
- アクティブ: [アクティブ] を選択すると通常スタンバイに戻ります。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

オプション | リモート設定



ユーザー1

デフォルト値は HDMI 2 です。



▶ を押して次のメニューに入り、その後、◀ または ▶ を押して、HDMI 2/VGA2/テストパターン/LAN/輝度/コントラスト/Sleep Timer/カラーマッチング/色温度/γ/ソースロック/投射方式/ランプ設定/ズーム/フリーズ を選択します。

ユーザー2

デフォルト値は VGA2 です。



▶ を押して次のメニューに入り、その後、◀ または ▶ を押して、HDMI 2/VGA2/テストパターン/LAN/輝度/コントラスト/Sleep Timer/カラーマッチング/色温度/γ/ソースロック/投射方式/ランプ設定/ズーム/フリーズ を選択します。

ユーザー3

デフォルト値は テストパターン です。



▶ を押して次のメニューに入り、その後、◀ または ▶ を押して、HDMI 2/VGA2/ テストパターン/LAN/輝度/コントラスト/Sleep Timer/カラーマッチング/色温度/γ/ソースロック/投射方式/ランプ設定/ズーム/フリーズ を選択します。

オプション | Filter Settings



❖ [エアマスク使用時間 / エアフィルタ使用通知 / エアフィルタ使用時間リセット] は [フィルターを取り付ける] が [はい] の場合にのみ表示されます。

エアマスク使用時間

エアマスク使用時間を表示します。

エアフィルタ使用通知

フィルタ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。(工場出荷時設定： 1000 時間)



- ◀ を押すと期間が短くなります。
- ▶ を押すと期間が長くなります。

エアフィルタ使用時間リセット

ダスト エアマスクの交換または洗浄後、ダスト エアマスク カウンタをリセットしてください。



終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が表示されない。

- すべてのケーブルと電源が、[設置方法]の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 映写用ランプがしっかり取り付けられているか、チェックします。[ランプの交換]をご参照ください。
- プロジェクタがオンに切り替わっていることを確認します。
- [AV 消音]機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- 投射画面がプロジェクタから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(19～22ページを参照してください)

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16: 9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を 変更する必要があります:
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎるか、小さすぎる。

- プロジェクタを画面に近づけたり、遠ざけたりします。
- プロジェクタパネルの [Menu] を押し、[ディスプレー--> フォーマット] に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクタがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整を行うには、OSDから [ディスプレー-->垂直キーストン] を使用します。

画像が反転する

- OSDから [設定-->投射方式] を選択し、投射方向を調整します。

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[3D] ボタンを押して [オフ] にしてください。

2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 入力信号が HDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、[3D] ボタンを押して [Side By Side] に切り替えてください。

3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号が HDMI 1.3 2D (1080i サイドバイサイド) になっている場合は、[3D]ボタンを押して、[Side By Side]に切り替えてください。

その他の問題

プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。[ランプの交換]に記載の手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクタのIRレシーバーから水平および垂直方向に±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクタとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクタから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

LED 点灯メッセージ

Message	⏻ ○ 電源 LED	温度インジケータ LED	ランプ インジケータ LED
	(赤/緑/青)	(赤)	(赤)
待機状態 (入力コード)	赤	○	○
電源オン(ウォーミング)	青で点滅	○	○
ランプ点灯	青	○	○
電源オフ(冷却)	青で点滅。 赤 (冷却ファンがオフ)	○	○
クイック レジューム (100 秒)	青で点滅	○	○
エラー (過熱)	赤で点滅	☼	○
エラー (ファントラブル)	赤で点滅	点滅	
エラー (ランプトラブル)	赤で点滅		☼

NOTE

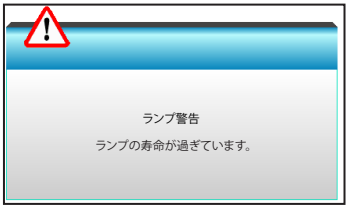
❖ 点灯 ⇨ ☼
消灯 ⇨ ○

オンスクリーン メッセージ

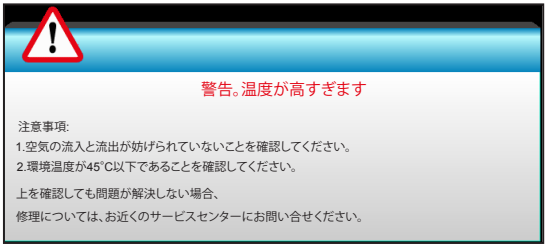
❖ パワーオフ:



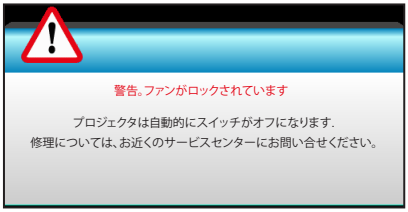
❖ ランプ警告:



❖ 温度警告:



❖ ファンのトラブル:

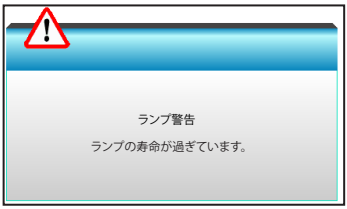


❖ 表示範囲外:



ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。

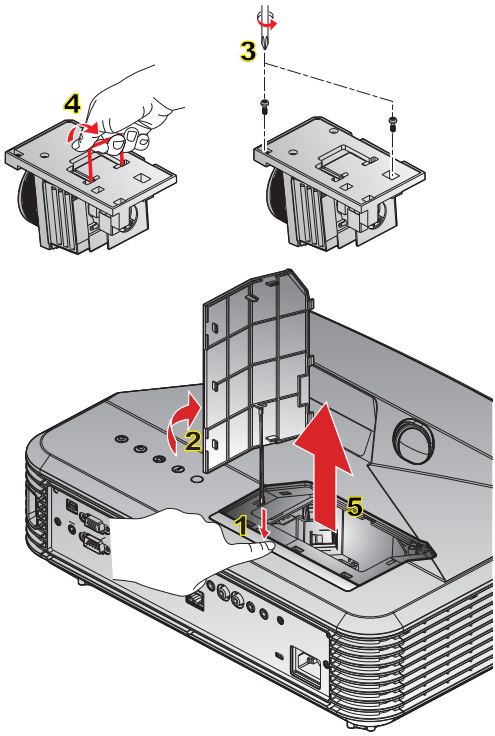


警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。[プロジェクタからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります]。

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

- ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。
- プロジェクタにランプ カバーが戻されなかった 場合、プロジェクタは動作しません。
- ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。



ランプ交換手順:

1. リモコンまたはプロジェクタのコントロールパネルにある[⏻]ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. リリースボタンを押して、本体からランプカバーを取り外します。1
5. 指の爪を使って、ランプカバーを緩め、取り外します。2
6. ランプ モジュールの上に付いた2つのネジをゆるめます。3
7. ランプハンドル 4 を持ち上げて、ランプ モジュールをゆっくりと注意深く移動します。5

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

10. プロジェクタの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。

ランプリセット: (i) [Menu]を押し、→ (ii) [オプション]を選択し、→ (iii) [ランプ設定]を選択し、→ (iv) [ランプリセット]を選択し、→ (v) [はい]を選択します。

ダストフィルタの取り付けと洗浄

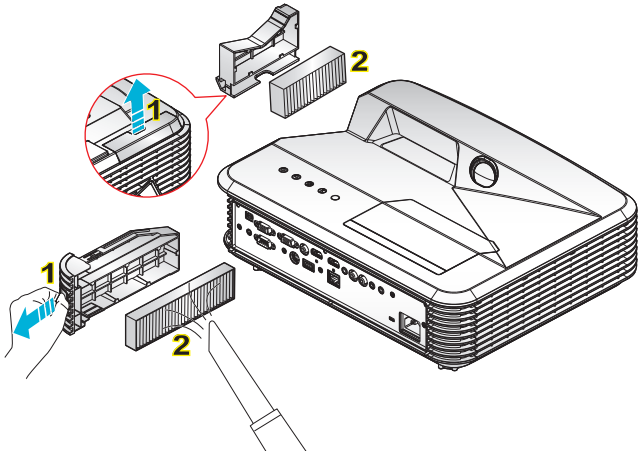
❖ ダストフィルタは、埃が過度に多い選ばれた地域のみに必要または供給されます。

500 時間の動作毎にダストフィルタの掃除をお勧めします。また、埃の多い環境でプロジェクタを使用する場合は、より頻繁に掃除することをお勧めします。

スクリーン上に警告メッセージが表示されたら、エアフィルタを掃除するために以下を行ってください:

The usage time of the dust filter is reched.

Please clean the dust filters for better performance.



エアフィルタの洗浄手順:

1. リモコンまたはプロジェクタのコントロールパネルにある[⏻]ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。
2. 電源コードを外します。
3. 図に示すように、ラッチを引き出して、ダストフィルタコンパートメントを取り外します。1
4. 慎重にエアフィルタを取り外します。ダストフィルタを洗浄するか交換します。2

ダストフィルタを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。

5. ダストフィルタを交換した後、プロジェクタをオンにしてフィルタ使用カウンタをリセットします。

互換モード

HDMI の互換性

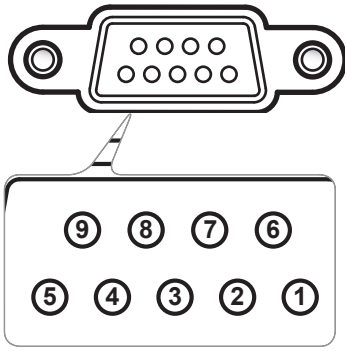
デジタル		
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / 詳細タイミング:
720 x 400 @ 70Hz 640 x 480 @ 60Hz 640 x 480 @ 67Hz 640 x 480 @ 72Hz 640 x 480 @ 75Hz 800 x 600 @ 56Hz 800 x 600 @ 60Hz 800 x 600 @ 72Hz 800 x 600 @ 75Hz 1024 x 768 @ 60Hz 1024 x 768 @ 70Hz 1024 x 768 @ 75Hz 1280 x 1024 @ 75Hz	**XGA / WXGA** 1440 x 900 @ 60Hz 1024 x 768 @ 120Hz 1280 x 800 @ 60Hz 1280 x 1024 @ 60Hz 1680 x 1050 @ 60Hz 1280 x 720 @ 60Hz 1280 x 720 @ 120Hz 1600 x 1200 @ 60Hz **1080P** 1280 x 720 @ 60Hz 1280 x 800 @ 60Hz 1280 x1024 @ 60Hz 1400 x 1050 @ 60Hz 1600 x 1200 @ 60Hz 1440 x 900 @ 60Hz	**ネーティブタイミング:** XGA: 1024 x 768 @ 60Hz WXGA: 1280 x 800 @ 60Hz 1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz
B1 / ビデオモード	B1 / 詳細タイミング:	
640 x 480p @ 60Hz 720 x 480p @ 60Hz 1280 x 720p @ 60Hz 1920 x 1080i @ 60Hz 720 (1440) x 480i @ 60Hz 1920 x 1080p @ 60Hz 720 x 576p @ 50Hz 1280 x 720p @ 50Hz 1920 x 1080i @ 50Hz 720(1440) x 576i @ 50Hz 1920 x 1080p @ 50Hz 1920 x 1080p @ 24Hz 1920 x 1080p @ 30Hz	720 x 480p @ 60Hz 1280 x 720p @ 60Hz 1366 x 768 @ 60Hz 1920 x 1080i @ 50Hz 1920 x 1080p @ 60Hz	

True 3D ビデオ互換

<table>
<tr><th>入力解像度</th><th colspan="3">入力タイミング</th></tr>
<tr><td rowspan="8">HDMI 1.4b 3D 入力</td><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="9">HDMI 1.3</td><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">サイドバイサイド (ハーフ)</td><td rowspan="4">3D映像フォーマットが [Side By Side] の間</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">最上部から底部まで</td><td rowspan="4">3D映像フォーマットが [Top and Bottom] の間</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>480i</td><td>HQFS</td><td>3D映像フォーマットが [Frame Sequential] の間</td></tr>
</table>

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232ピン割り当て



Pin 番号	仕様 (プロジェクタ側から)
1	該等なし
2	RXD
3	TXD
4	該等なし
5	GND
6	該等なし
7	該等なし
8	該等なし
9	該等なし

NOTE

❖ RS232 シェルは接地されます。

RS232プロトコル機能リスト

NOTE

1. すべての ASCII コマンドの後には <CR> が付きます。
2. 0D は、ASCII コードでの <CR>に対する HEX コードです。

通信速度: 9600
データビット: 8
パリティ:なし
停止ビット: 1
フロー制御:なし
UART16550 FIFO: 無効
プロジェクタ復帰(成功): P
プロジェクタ復帰(失敗): F

XX = 01 ～ 99、プロジェクタ ID、XX=00 は、全プロジェクタ用です

SEND to projector			
232 ASCII Code	**HEX Code**	**Function**	**Description**
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON	
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 0D	Power OFF	(0/2 for backward compatible)
~XX00 1 ~nnnn	7E 30 30 30 30 20 31 20 a 0D	Power ON with Password	~nnnn = ~00000 (a=7E 30 30 30 30 30) ~99999 (a=7E 39 39 39 39 39)
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Resync	
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 0D	AV Mute	On
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 0D	Mute	On
~XX03 0	7E 30 30 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 0D	Freeze	
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 0D	Unfreeze	(0/2 for backward compatible)
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 0D	Zoom Plus	
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 0D	Zoom Minus	
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D	Direct Source Commands	HDMI1
~XX12 15	7E 30 30 31 32 20 31 35 0D		HDMI2
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA1
~XX12 6	7E 30 30 31 32 20 36 0D		VGA 2
~XX12 8	7E 30 30 31 32 20 38 0D		VGA1 Component
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D	Display Mode	Presentation
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Movie
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		sRGB
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User
~XX20 7	7E 30 30 32 30 20 37 0D		Blackboard
~XX20 13	7E 30 30 32 30 20 31 33 0D		DICOM SIM.
~XX20 9	7E 30 30 32 30 20 39 0D		3D
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness	n = 1 (a=31) ~ 15 (a=31 35)
~XX44 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Tint	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX45 n	7E 30 30 34 35 20 a 0D	Color	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)

~XX327 n	7E 58 58 33 32 37 20 a 0D	Color Matching	Red Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX328 n	7E 58 58 33 32 38 20 a 0D		Green Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX329 n	7E 58 58 33 32 39 20 a 0D		Blue Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX330 n	7E 58 58 33 33 30 20 a 0D		Cyan Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX331 n	7E 58 58 33 33 31 20 a 0D		Yellow Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX332 n	7E 58 58 33 33 32 20 a 0D		Magenta Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX333 n	7E 58 58 33 33 33 20 a 0D		Red Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX334 n	7E 58 58 33 33 34 20 a 0D		Green Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX335 n	7E 58 58 33 33 35 20 a 0D		Blue Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX336 n	7E 58 58 33 33 36 20 a 0D		Cyan Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX337 n	7E 58 58 33 33 37 20 a 0D		Yellow Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX338 n	7E 58 58 33 33 38 20 a 0D		Magenta Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX339 n	7E 58 58 33 33 39 20 a 0D		Red Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX340 n	7E 58 58 33 34 30 20 a 0D		Green Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX341 n	7E 58 58 33 34 31 20 a 0D		Blue Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX342 n	7E 58 58 33 34 32 20 a 0D		Cyan Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX343 n	7E 58 58 33 34 33 20 a 0D		Yellow Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX344 n	7E 58 58 33 34 34 20 a 0D		Magenta Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX345 n	7E 58 58 33 34 35 20 a 0D		White/R	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX346 n	7E 58 58 33 34 36 20 a 0D		White/G	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX347 n	7E 58 58 33 34 37 20 a 0D		White/B	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX215 1	7E 30 30 32 31 35 20 31 0D		Reset	
~XX24 n	7E 30 30 32 34 20 a 0D	RGB Gain/Bias	Red Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX25 n	7E 30 30 32 35 20 a 0D		Green Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX26 n	7E 30 30 32 36 20 a 0D		Blue Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX27 n	7E 30 30 32 37 20 a 0D		Red Bias	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX28 n	7E 30 30 32 38 20 a 0D		Green Bias	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX29 n	7E 30 30 32 39 20 a 0D		Blue Bias	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX33 n	7E 30 30 33 33 20 a 0D		Reset	
~XX34 n	7E 30 30 33 34 20 a 0D	BrilliantColor™		n = 1 (a=31) ~ 10 (a=31 30)
~XX196 n	7E 30 30 31 39 36 20 a 0D	Noise Reduction		n = 1 (a=31) ~ 10 (a=31 30)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Gamma	Film	
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics	
~XX35 5	7E 30 30 33 35 20 35 0D		1.8	
~XX35 6	7E 30 30 33 35 20 36 0D		2.0	
~XX35 7	7E 30 30 33 35 20 37 0D		2.2	
~XX35 8	7E 30 30 33 35 20 38 0D		2.6	
~XX35 9	7E 30 30 33 35 20 39 0D		3D	
~XX36 0	7E 30 30 33 36 20 31 0D	Color Temp.	Medium	
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Cool	
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold	
~XX37 1	7E 30 30 33 37 20 31 0D	Color Space	Auto	
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D		RGB\ RGB(0-255)	
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YUV	
~XX37 4	7E 30 30 33 37 20 34 0D		RGB(16 - 235)	

~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal (RGB)	Frequency	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By signal
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase	n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) By signal
~XX91 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D	Automatic	Enable	
~XX91 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D		Disable	
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX200 n	7E 30 30 32 30 30 20 a 0D	Signal(Video)	White Level	
~XX201 n	7E 30 30 32 30 31 20 a 0D		Black Level	
~XX204 1	7E 30 30 32 30 30 21 31 0D		0	
~XX204 0	7E 30 30 32 30 30 21 30 0D		7.5	
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3	
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9	
~XX60 3	7E 30 30 36 30 20 33 0D		16:10(WXGA Model)	
~XX60 5	7E 30 30 36 30 20 35 0D		LBX	
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 36 0D		Native	
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Auto	
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Digital Zoom	Zoom	n = -5 (a=2D 35) ~ 25 (a=32 35)
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Edge mask	n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)	
~XX63 n	7E 30 30 36 33 20 a 0D	H Image Shift	n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)	
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift	n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)	
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone	n = -40 (a=2D 34 30) ~ 40 (a=34 30)	
~XX230 1	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	DLP-Link	
~XX230 3	7E 30 30 32 33 30 20 33 0D		VESA	
~XX230 0(or2) 7E	30 30 32 33 30 20 30(32) 0D		Off	
~XX400 0	7E 30 30 34 30 30 20 30 0D	3D->2D	3D	
~XX400 1	7E 30 30 34 30 30 20 31 0D		L	
~XX400 2	7E 30 30 34 30 30 20 32 0D		R	
~XX405 0	7E 30 30 34 30 35 20 30 0D	3D Format	Auto	
~XX405 1	7E 30 30 34 30 35 20 31 0D		SBS	
~XX405 2	7E 30 30 34 30 35 20 32 0D		Top and Bottom	
~XX405 3	7E 30 30 34 30 35 20 33 0D		Frame sequential	
~XX231 0	7E 30 30 32 33 31 20 30 0D	3D Sync Invert	On	
~XX231 1	7E 30 30 32 33 31 20 31 0D		Off	
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English	
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German	
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French	
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian	
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish	
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese	
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish	
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch	
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish	
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish	
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish	
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek	
~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese	
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese	

~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese	
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean	
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian	
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian	
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak	
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic	
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish	
~XX70 23	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Farsi	
~XX70 27	7E 30 30 37 30 20 32 37 0D		Romanian	
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop	
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop	
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling	
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling	
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left	
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right	
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Centre	
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left	
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right	
(WXGA/ Model)				
~XX90 1	7E 30 30 39 30 20 31 0D	Screen Type	16:10	
~XX90 0	7E 30 30 39 30 20 30 0D		16:9	
~XX77 n	7E 30 30 37 37 20 aabbcc 0D	Security	Security Timer	Month/Day/Hour n = mm/dd/hh mm= 00 (aa=30 30) ~ 12 (aa=31 32) dd = 00 (bb=30 30) ~ 30 (bb=33 30) hh= 00 (cc=30 30) ~ 24 (cc=32 34)
~XX78 1	7E 30 30 37 38 20 31 0D	Security Settings	On	
~XX78 0 ~nnnn	7E 30 30 37 38 20 30 20 a 0D		Off(0/2 for backward compatible) ~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)	
~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID		n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)
~XX80 1	7E 30 30 38 30 20 31 0D	Mute	On	
~XX80 0	7E 30 30 38 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX310 0	7E 30 30 33 31 30 20 30 0D	Internal Speaker	Off	
~XX310 1	7E 30 30 33 31 30 20 31 0D		On	
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	Volume(Audio)		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX89 0	7E 30 30 38 39 20 30 0D	Audio Input	Default	
~XX89 1	7E 30 30 38 39 20 31 0D		Audio1	
~XX89 3	7E 30 30 38 39 20 33 0D		Audio2	
~XX82 1	7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo	Optoma	
~XX82 2	7E 30 30 38 32 20 32 0D		User	
~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 33 0D		Neutral	
~XX83 1	7E 30 30 38 33 20 31 0D	Logo Capture		
~XX88 0	7E 30 30 38 38 20 30 0D	Closed Captioning	Off	
~XX88 1	7E 30 30 38 38 20 31 0D		cc1	
~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 32 0D		cc2	
~XX87 1	7E 30 30 38 37 20 31 0D	Network Status(Read only Return :Oka, a=0/1 Disconnected/ Connected		
~XX87 3	7E 30 30 38 37 20 33 0D	IP Address(Read only) Return: "Okaaa_bbb_ccc_ddd"		
~XX454 0/2	7E 30 30 34 35 34 20 30(32) 0D	Crestron	Off	
~XX454 1	7E 30 30 34 35 34 20 31 0D		On	

~XX455 0/2	7E 30 30 34 35 35 20 30(32) 0D	Extron	Off	
~XX455 1	7E 30 30 34 35 35 20 31 0D		On	
~XX456 0/2	7E 30 30 34 35 36 20 30(32) 0D	PJLink	Off	
~XX456 1	7E 30 30 34 35 36 20 31 0D		On	
~XX457 0/2	7E 30 30 34 35 37 20 30(32) 0D	AMX Device Discovery	Off	
~XX457 1	7E 30 30 34 35 37 20 31 0D		On	
~XX458 0/2	7E 30 30 34 35 38 20 30(32) 0D	Telnet	Off	
~XX458 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D		On	
~XX39 1	7E 30 30 33 39 20 31 0D	Input Source	HDMI1	
~XX39 7	7E 30 30 33 39 20 37 0D		HDMI2	
~XX39 5	7E 30 30 33 39 20 35 0D		VGA1	
~XX39 6	7E 30 30 33 39 20 36 0D		VGA2	
~XX39 10	7E 30 30 33 39 20 31 30 0D		Video	
~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock	On	
~XX100 0	7E 30 30 31 30 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX101 1	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude	On	
~XX101 0	7E 30 30 31 30 31 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX102 1	7E 30 30 31 30 32 20 31 0D	Information Hide	On	
~XX102 0	7E 30 30 31 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX103 1	7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Keypad Lock	On	
~XX103 0	7E 30 30 31 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX348 0	7E 30 30 33 34 38 20 30 0D	Display Mode Lock	Off (0/2 for backward compatible)	
~XX348 1	7E 30 30 33 34 38 20 31 0D		On	
~XX195 0	7E 30 30 31 39 35 20 30 0D	Test Pattern	None	
~XX195 1	7E 30 30 31 39 35 20 31 0D		Grid(White)	
~XX195 3	7E 30 30 31 39 35 20 33 0D		Grid(Green)	
~XX195 4	7E 30 30 31 39 35 20 34 0D		Grid(Magenta)	
~XX195 2	7E 30 30 31 39 35 20 32 0D		White	
~XX192 0	7E 30 30 31 39 32 20 30 0D	12V Trigger	Off	
~XX192 1	7E 30 30 31 39 32 20 31 0D		On	
~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color	Blue	
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D		Black	
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D		Red	
~XX104 4	7E 30 30 31 30 34 20 34 0D		Green	
~XX104 5	7E 30 30 31 30 34 20 35 0D		White	
~XX105 1	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D	Advanced	Direct Power On	On
~XX105 0	7E 30 30 31 30 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX113 0	7E 30 30 31 31 33 20 30 0D		Signal Power On	Off
~XX113 1	7E 30 30 31 31 33 20 31 0D			On
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min)	n = 0 (a=30) ~ 180 (a=31 38 30) (5 minutes for each step).
~XX107 n	7E 30 30 31 30 37 20 a 0D		Sleep Timer (min	n = 0 (a=30) ~ 990 (a=39 39 30) (30 minutes for each step).
~XX115 1	7E 30 30 31 31 35 20 31 0D		Quick Resume	On
~XX115 0	7E 30 30 31 31 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX114 1	7E 30 30 31 31 34 20 31 0D		Power Mode(Standby)	Active (<=0.5W)
~XX114 0	7E 30 30 31 31 34 20 30 0D			Eco. (0/2 for backward compatible)

~XX109 1	7E 30 30 31 30 39 20 31 0D	Lamp Reminder	On
~XX109 0	7E 30 30 31 30 39 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX110 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D	Brightness Mode	Bright
~XX110 2	7E 30 30 31 31 30 20 32 0D		Eco
~XX110 3	7E 30 30 31 31 30 20 33 0D		Eco+
~XX110 4	7E 30 30 31 31 30 20 34 0D		Dynamic
~XX111 1	7E 30 30 31 31 31 20 31 0D	Lamp Reset	Yes
~XX111 0	7E 30 30 31 31 31 20 30 0D		No (0/2 for backward compatible)
~XX322 0	7E 30 30 33 32 32 20 30 0D	Filter Reminder	Off
~XX322 1	7E 30 30 33 32 32 20 31 0D		300 hrs
~XX322 2	7E 30 30 33 32 32 20 32 0D		500 hrs
~XX322 3	7E 30 30 33 32 32 20 33 0D		800 hrs
~XX322 4	7E 30 30 33 32 32 20 34 0D		1000 hrs
~XX323 1	7E 30 30 33 32 33 20 31 0D	Filter Reset	Yes
~XX323 0	7E 30 30 33 32 33 20 30 0D		No (0/2 for backward compatible)
~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	Reset	Yes
SEND to emulate Remote			
~XX140 10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D	Up	
~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D	Left	
~XX140 12	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D	Enter (for projection MENU)	
~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D	Right	
~XX140 14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D	Down	
~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D	Keystone +	
~XX140 16	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D	Keystone -	
~XX140 17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D	Volume -	
~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D	Volume +	
~XX140 19	7E 30 30 31 34 30 20 31 39 0D	Brightness	
~XX140 20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D	Menu	
~XX140 21	7E 30 30 31 34 30 20 32 31 0D	Zoom	
~XX140 28	7E 30 30 31 34 30 20 32 38 0D	Contrast	
~XX140 47	7E 30 30 31 34 30 20 34 37 0D	Source	

SEND from projector automatically

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
when Standby/Cooling/Out of Range/Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/ Lamp Hours Running Out/Cover Open			INFOn	n : 0/1/2/3/4/6/7/8/9 = Standby/Cooling/Out of Range/ Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/Lamp Hours Running Out/Cover Open

READ from projector				
232 ASCII Code	**HEX Code**	**Function**	**Projector Return**	**Description**
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	Oka	a = 0 None a = 2 VGA-1 a = 3 VGA-2 a = 5 Video a = 7 HDMI1 a = 8 HDMI2
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Sofware Version	OKdddd	dddd: FW version
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	Oka	a = 0 None a = 1 Presentation a = 2 Bright/ a = 3 Movie a = 4 sRGB a = 5 User a= 7 Blackboard a = 9 3D a = 12 DICOM SIM.
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n : 0/1 = Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	
~XX126 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Contrast	OKn	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Format	OKn	n: 1/2/3/5/6/7 =4:3/16:9/16:10/LBX/ Native/Auto
*16:9 or 16:10 depend on Screen Type setting				
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	Oka	a=0 Standard a=1 Cool a=2 Cold
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n : 0/1/2/3 = Front-Desktop/ Rear-Desktop/ Front-Ceiling/ Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 1D	Information	Okabbbbbccd dddee	a = Power Status a=0 Power Off a=1 Power On b = Lamp Hour (LED Hours) bbbbb Lamp Hour (LED Hours) c = Input Source cc=00 None cc=02 VGA1 cc=03 VGA2 cc=05 Video cc=07 HDMI1 cc=08 HDMI2 d = Firmware Version dddd Firmware Version e = Display mode ee=00 None ee=01 Presentation ee=02 Bright ee=03 Movie ee=04 sRGB ee=05 User ee=07 Blackboard ee=09 3D ee=12 DICOM SIM.
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	n:1/2/3=XGA/WGA/1080p
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Hours	OKbbbb	bbbb: LampHour
~XX108 2	7E 30 30 31 30 38 20 32 0D	Cumulative Lamp Hours	OKbbbbb	bbbbb: (5 digits) Total Lamp Hours
~XX87 1	7E 30 30 38 37 20 31 0D	Network Status	Okn	n=0/1 Disconnected/Connected

~XX351 0	7E 30 30 33 35 31 20 30 0D	Fan1 speed(blower)	Oka	a=0000~9999
~XX352 1	7E 30 30 33 35 32 20 31 0D	System temperature	Oka	a=000~999
~XX353 1	7E 30 30 33 35 33 20 31 0D	Serial number	Okaaaaaaaaaaaaaaaa	a=serial number string
~XX354 1	7E 30 30 33 35 34 20 31 0D	Closed Captioning	Oka	a: 0/1/2 = off/cc1/cc2
~XX355 1	7E 30 30 33 35 35 20 31 0D	AV Mute	Oka	a : 0/1 = Off/On
~XX356 1	7E 30 30 33 35 36 20 31 0D	Mute	Oka	a : 0/1 = Off/On
~XX357 1	7E 30 30 33 35 37 20 31 0D	LAN FW version	Okeeeee	eeeee = Software Version
~XX358 1	7E 30 30 33 35 38 20 31 0D	Current Lamp Watt	Okaaaa	aaaa=0000~9999

天井への取り付け

他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い:

- ネジの種類: M4*3
- 最大ネジ長 : 11mm
- 最小ネジ長 : 8mm

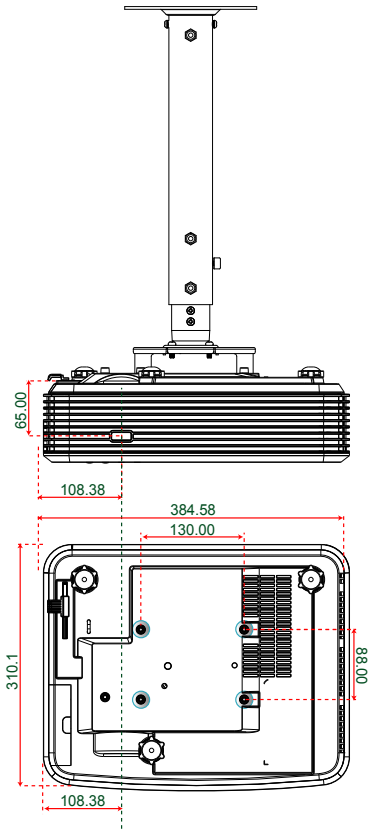
NOTE

❖ プロジェクタが正しく設置されていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

NOTE

⚠ 警告:

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクタの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクタは、熱源の近くに設置しないで下さい。



単位: mm

Optoma社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

中南米及びメキシコ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
サービスダイヤル: +44 (0)1923 691865

+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
スペイン

+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
ノルウェー

+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
ノルウェー

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495

info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾

12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw

+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

当付録はプロジェクタ総則の一覧です。

FCC通告

本装置は、FCC基準パート15に準ずるクラスBのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- ❖ 受信アンテナの再設定又は移動。
- ❖ 本装置と受信機の距離を離す。
- ❖ 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- ❖ 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC15章に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

当クラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque ŕ l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme ŕ la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)



廃棄物についての指示
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。